

田中
信顯編纂
本朝民鑒

附錄
戊
卷

千鍾房藏版

02
3
02

凡例

- 一 此書ハ本朝民鑑乾ノ卷以下附錄卷ノ四ニ至ル迄ニ掲クル所ノ條例規則中増損加除廢棄等ハ勿論其他本條ニ連及スル布令ハ不漏書目ノ順序ニ從テ列記シタル者ニシテ戊辰以來本年七月卅一日迄ノ沿革ヲ知ラント欲セハ宜ク前篇ノ書目ト此篇ノ書目ト照合スヘシ
- 一 前篇ノ書目此書ニ漏ルハモノハ前篇出板ノ後其規則ニ變更ナキモノト了知スヘシ
- 一 此書ノ卷末ニ掲クル所ノ布令要領ハ各官省ノ布令中本篇ニ掲クルモノト否トナ問ハス目ノ順次ニ是ヲ登記シ以テ搜索ノ便ニ供ス
- 一 本年八月ヨリ十二月マテノ分ハ本朝民鑑附錄卷ノ六ト

ナニ不日出板セントス

明治十一年十二月

編者誌

本朝民鑑附錄卷ノ五目錄

○内務省職制及章程 本朝民鑑乾ノ卷へ掲シ

(参考) 明治八年第二百十七號太政官達内務省事務章程上款十八條下款廿七條改正ノ件

自第一二一丁

○江都省開拓使職制及章程 本朝民鑑乾ノ卷へ掲シ

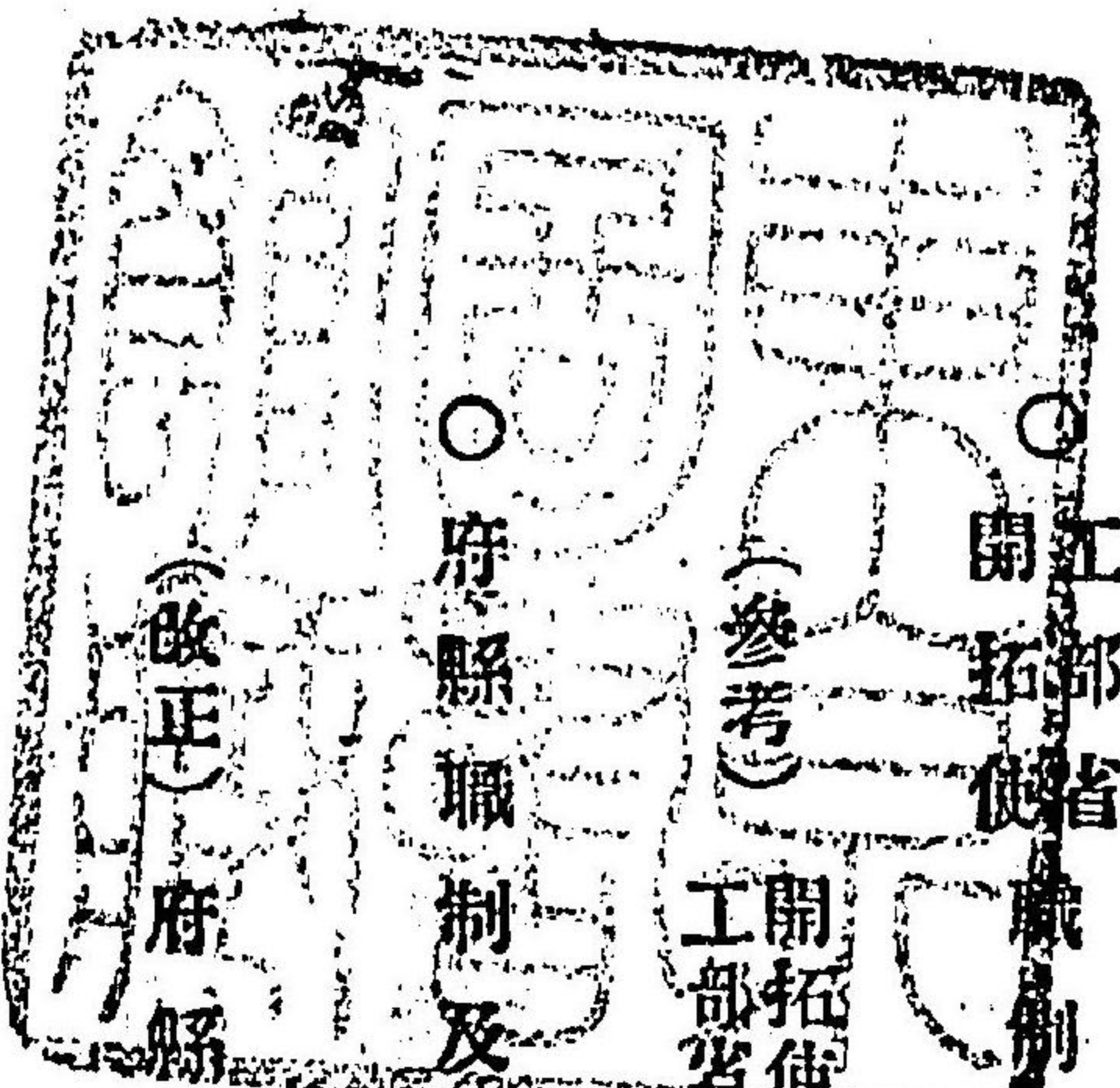
(参考) 開拓使中准陸軍武官ヲ除クノ外大判官以下並工部省中一等技長以下ヲ廢シ官等被定ノ件

自第三六三丁

○府縣職制及章程 本朝民鑑乾ノ卷へ掲シ

(改正) 府縣職制改正ノ件

自第三七〇丁



(參考) 府知事權知事等級被定ノ件

自第 二二 三一 丁丁

(參考) 府縣參事以下被廢ニ付テ六當六月以前改正未済ノ分ニ限リ仕丁据置不苦旨

自第 二二 四三 丁丁

(參考) 縣官任期例被定ノ件

自第 二二 六四 丁丁

○ 議院憲法ノ本朝民鑑乾

(改正) 議院憲法議事規則改正ノ件

自第 三二 四七 丁丁

○ 警視局職制及章程ノ本朝民鑑乾

(參考) 警部官等被改ノ件

自第 三三 五四 丁丁

(參考) 警視官以下禮帽橫線改定ノ件

自第 三三 六五 丁丁

○ 電信條例ノ本朝民鑑乾

(參考) 陸奥國今別港ヨリ渡島國福島灣ノ間ニ設アル浮標ノ形體及位置ニ改メ

第 三 七 丁

(參考) 越後國新潟ノ電信線架設ノ件

自第 三三 九七 丁丁

(參考) 愛媛縣下丸龜高松ノ電信線架設ノ件

自第 四三 一九 丁丁

(參考) 大分縣下中津及大分ノ電信線架設ノ件

自第 四四 二一 丁丁

(參考) 三河國岡崎ノ電信分局設置ノ件

自第 四四 三二 丁丁

(參考) 熊本縣下佐敷電信局閉局ノ件 第四四丁

(參考) 高知縣下德島ノ電信 第四四丁

(參考) 延岡鹿兒島宮崎ノ三所ノ電信架設分局設置ノ件 自第四四五丁至第四七五丁

(參考) 海外通信ノ儀ハ魯國議定ノ萬國電信公法ニ從ヒ可取計旨 第四七丁

(參考) 東京府下木挽町ニ電信中央局設置ノ件 第四八丁

(參考) 三重縣桑名ノ電信分局設置ノ件 第四九丁

(參考) 海外通信料ノ件 第五〇丁

(參考) 信濃國上田ノ電信線架設ノ件 第五〇丁

(參考) 高知縣下撫養山口縣下三尻ノ電信架設分局設置ノ件 自第五二〇丁至第五五二丁

(參考) 筑前國若松電信分局小倉配達管内ノ編入ノ件 自第五五三丁至第五五二丁

○出板條例 本朝民鑑乾 第五三丁

(參考) 文部省藏板ノ書ニ傍訓註解等ヲ加ヘ刊行セシムルモノハ草稿ヲ以テ文部省ニ可伺出旨 第五三丁

○地租改正條例 本朝民鑑乾 第五四丁

(參考) 條例第四章田畑ノ稱ヲ廢シ云々布告候處詮議ノ次第有之自今田畑ノ稱併用スヘキ旨 第五四丁

(參考) 九年乙第三號地租改正
事務局達更正增加ノ件

至自 第五五
第六四 丁丁

(參考) 地租改正費操替金ノ件

至自 第五五
第七六 丁丁

(參考) 地租改正中假収税ノ件

第 五 七 丁

(參考) 地租改正事務局達九年
甲第一號へ追加ノ件

第 五 八 丁

(參考) 地租改正調整額ノ上地價帳及
繪圖ヲ調整シ可差出旨

至自 第八五
九二九 丁丁

(參考) 市街地租假納ノ件

第 八 二 丁

(參考) 地租改正施行規則第
四則稅額収入ノ件

至自 第八八
四三三 丁丁

(參考) 自今付新地券併用スヘキ旨公
布

至自 第八八
五五四 丁丁

(參考) 地租改正施行規則第
三則へ但書追加ノ件

第 八 五 丁

(參考) 民費ハ正租五分ノ一ヲ過クヘカラ
ル旨布告相成候處右ノ地租改正
濟ノ土地ニ限リ候儀ト可心得旨

至自 第八八
六五六 丁丁

(參考) 田畑山林宅地等其種類ヲ變
換スルモノノ届出方等雜形

至自 第八八
九六六 丁丁

(參考) 一筆限地價帳離形ノ件

至自 第八一
〇七九 丁丁

(參考) 地價帳調査手續書ノ件

至自 第八一
〇七九 丁丁

(參考) 畑田成田畑成宅地
成等届出方ノ件

至自 第八一
〇九〇 丁丁

(參考) 明治十一年東京府乙 自第一一三〇丁

(參考) 民費課賦ノ件 第一一三丁

(參考) 新舊金壹錢五厘ノ際用紙ト 第一一四丁

(參考) 地主總代人解職ノ件 第一一四丁

(參考) 地價鑒定人及地主總代人殘務爲取扱ノ件 第一一四丁

○新聞條例 本朝民鑑乾 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ヲ得タル後發行セ 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ後再行屆無之モ 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 新聞紙雜誌准允ノ權之レナキ旨 第一一五丁

(參考) 公債証書ノ事務ノ關スル諸費計表差出方ノ件 第一二〇丁

(參考) 公債利金渡方順序ノ件 第一二二丁

(參考) 金祿公債証書下渡方ノ件 第一二二丁

○蠶種製造組合條例ノ本朝民鑑乾卷ニ掲ク

(參考) 蠶種原紙規則蠶種製造組合條例蠶種製造組合會議局規則等廢止ノ件 第一二三丁

○株式取引條例ノ本朝民鑑乾卷ニ掲ク

(改正) 株式取引條例更正ノ件 自第一四〇丁至第一四四丁

(參考) 株式取引ノ儀ハ當分ノ内東京大坂ニテ各一個所宛ニ限リ候旨 第一四〇丁

(參考) 株式取引所并米商會所ノ營業ニ屬スル願伺届ハ自今大藏省ニ可差出ノ件 第一四一丁

○違式註違條例ノ本朝民鑑乾卷ニ掲ク

(改正) 註違罪目第三十條改正ノ件 第一四一丁

(改正) 註違罪目第三十三條改正ノ件 第一四二丁

(追加) 違式註違罪目第七十一條追加ノ件 第一四二丁

(改正) 明治十年甲第七十三號違式註違罪目ノ誤リ 第一四三丁

(追加) 註違罪目第七十二條追加ノ件 第一四三丁

(追加) 同第七十二條追加ノ件 第一四四丁

(改正) 違式罪目第十四條改正ノ件 第一四四丁

(刪除) 二註罪目第二十條第 第一四四丁

(刪除) 註違罪目第五十 第一四四丁

(追加) 註違罪目第七十四條 第一四五丁

(增補) 違式註違條例第 第一四五丁

(追加) 違式罪目第八條刪除街路取 第一四六丁

(參考) 付外國人止宿届出方ノ件 第一四七丁

(參考) 入處分ノ違犯罪 第一四七丁

(參考) 違式註違處分 第一四八丁

(參考) 手續改定ノ件 第一四九丁

(參考) 違式註違處分手續 第一四九丁

(參考) 同第六條追加ノ件 第一五二丁

(參考) 同第七條追加ノ件 自第一五二丁至第一五二丁

(参考) 同第八條追加ノ件

自第一一五三丁

(参考) 同第九條追加ノ件

第一一五七丁

(参考) 同第十條マテ追加ノ件

自第一一六四丁

(参考) 違式註違處分手續第十二三條中第二十條云々ハ第十九條ノ誤ノ旨

第一一六五丁

(参考) 違式註違處分手續第二十條ヨリ第二十五條迄追加ノ件

自第一一六七丁

(参考) 同第二十六條追加ノ件

自第一一七二丁

(参考) 違式註違手續書第二條第三條改定ノ件

第一一七一丁

(参考) 同第二十六條中刪除ノ件

第一一七二丁

(参考) 同第七條但書刪除ノ件

第一一七二丁

(参考) 同第二十七條追加ノ件

第一一七三丁

(参考) 同第七條改正ノ件

自第一一七五丁

(参考) 同第二十六條中改正ノ件

第一一七五丁

(参考) 同第二十八條追加ノ件

第一一七六丁

(参考) 違式註違罪目第二十二條ノ義ニ付違

第一一七七丁

(參考) 違式註違處分手續第二
十六條中改正刪除ノ件 第一七八丁

(參考) 同第三十九條三十條追加ノ件 自第一七九丁
至第一七九丁

(參考) 同第十八條改正ノ件 自第一八〇丁
至第一八二丁

(參考) 士族違式ノ罪ヲ犯シ無力贖金ヲ納ム
ル能ハサル者ハ監獄署ヘ送付可致旨 第一八二丁

○月俸規則 本朝民鑑乾

(改正) 月俸規則第八條 自第一八三丁
第九條改正ノ件 至第一八四丁

(改正) 同第三十二條改正ノ件 第一八五丁

(追加) 同第十八條但書追加ノ件 自第一八六丁
至第一八六丁

(改正) 同第三條及二十二條 第一八六丁
但書第二項改正ノ件

(改正) 同第九條改正ノ件 自第一八七丁
至第一八八丁

○飛信遞送規則 本朝民鑑乾

(參考) 飛信遞送規則第六項 第一八八丁
第九項ノ儀ニ付違

(參考) 飛信遞送賃錢仕拂方ノ件 第一八九丁

○造幣規則 本朝民鑑乾

(參考) 貨幣品位表ノ件

自第一一九四〇丁

(參考) 精製分拆所規則

自第一一九二四丁

○公用土地買上規則 本朝民鑑乾

(參考) 官用ノ爲メ土地ヲ要スルハ照會手續ノ件

自第二〇〇三丁

○戶籍 本朝民鑑乾

(參考) 東京へ全戸移住ノ官員届書式ノ件

自第二〇〇五丁

(參考) 寄留人取調ニ付東京府ヨリ申出ノ旨

自第二〇〇八丁

(參考) 實子アル者養子ヲ以テ相續人トシ子女アルノ寡婦夫ヲ迎へ前夫婦相續人ト定ムル等親族協議ヲ以出願候ハ、聞届不苦旨

第二〇〇八丁

(參考) 願届等差出方ノ儀

自第二〇一二丁

(參考) 居留地外住居外國人標札揭示離形ノ件

第二〇一二丁

(參考) 士族ノ輩他管出ノ寄留或ハ旅行等届出ノ件

第二〇一三丁

(參考) 行旅人病痾或ハ旅費空乏ノ者本籍へ遞送ノ件

第二〇一四丁

(參考) 籍面誤脱改正方ノ件

第二〇一四丁

(參考) 乞食並籍者送附書式ノ件

自第二〇一七丁

(參考) 宿村繼ノ義必ス宿村毎ニ繼立候テ、徒ラニ特間ヲ費シ候コト付自今可成宿驛繼ニ可取計旨 第二二一七丁

○皇族華族取扱規則 本朝民鑑坤 卷へ掲ク

(參考) 華族ノ輩願同届ハ直ニ宮内省へ可差出旨 第二二一八丁

(參考) 華族ノ輩願同届中地方ニ係ル分ハ管轄廳へ可差出旨 第二二一八丁

(參考) 宮華族ノ届入届免ノ節届出ノ件 第二二一九丁

○華士族平民養子婚姻離婚手續 本朝民鑑坤 卷へ掲ク

(參考) 實子アル者養子ヲ以テ相續人トシ子女アルノ寡婦夫ヲ迎ヘテ前夫婦跡相續人ト定ムル等親族協議ヲ以出願候ハ、聞届不苦旨 第二二二〇丁

(參考) 婚姻届離形ノ件 自第二二二〇丁 至第二二二二丁

○恤救規則 本朝民鑑坤 卷へ掲ク

(參考) 棄兒養育米渡方ノ件 第二二二三丁

(參考) 棄兒養育ノ者調方ノ件 自第二二二四丁 至第二二二四丁

(參考) 棄兒養育者賞典ノ件 第二二二四丁

○負債者失踪後處分規則 本朝民鑑坤 卷へ掲ク

(參考) 失踪者戸籍登記ノ件 第二二二五丁

(參考) 失踪者歸住願書

第二二五丁

○貸借及諸品賣買心得ノ本朝民鑑坤

(參考) 舊曆々貸下金年賦返納スヘキ者一時返納願出候節ハ別紙辨則ニ可從旨

自第二二六丁至第二二八丁

(參考) 明治四年六月商人賣服品代金滯云々ノ布告并六年七月第二百三十九號布告廢シノ件

第二二八丁

(參考) 貸下金出納順序ノ件

第二二九丁

(參考) 諸拜借金証文差出ノ件

第二三〇丁

(參考) 貸下金受拂勘定帳離形ノ内増加ノ件

自第二三〇丁至第二四〇丁

○建物書入質及賣買讓渡規則ノ本朝民鑑坤

(改正) 建物賣買讓渡規則第二條中改正ノ件

第二四一丁

(參考) 地所建物質入書入與書割印簿紛失ノ件

第二四一丁

○身代限規則ノ本朝民鑑坤

(參考) 身代限ノ者ヨリ區入費取立方ノ件

第二四二丁

(參考) 身代限財產取調中關係人ノ財產保管ノ件

第二四三丁

○地券渡方規則ノ本朝民鑑坤

(參考) 地券離形ノ件

自第二四四三丁

(參考) 地券書換願離形ノ件

自第二四四〇丁

○金穀公借共有物取扱土木起功規則ノ本朝民鑑坤
本卷へ掲

(參考) 町村總代人選舉方
第一條中改正ノ件

第二五一丁

○控訴上告手續ノ本朝民鑑坤
本卷へ掲

(參考) 刑事上告中前裁判官渡ノ日數
滿シレハ一先出獄責付可致旨

第二五一丁

(參考) 民刑ノ上告中已ニ裁判ヲ經タルモ司
法卿其裁判ヲ允當ナラスト思量スレ
ハ再審ヲ求メシムルヲ得ヘキ旨

第二五二丁

(參考) 檢事ノ上告破毀ニ係リ他裁判所へ移ス
ルハ所在檢察官ニ於テ事務可取扱旨

第二五二丁

○代盲人規則

(參考) 代盲人免許滿期前取掛ノ事
件ニ限リ滿期後取扱不苦旨

第二五三丁

(參考) 代盲人規則第十七條増補ノ件

自第二五四三丁
至第二五四丁

○蠶種原紙規則ノ本朝民鑑坤

(廢止) 蠶種原紙規則并蠶種製造組合條例蠶
種製造組合會議局規則等廢止ノ件

第二五四丁

(參考) 蠶種原紙賣下ノ件

第二五五丁

(參考) 繭種原紙贏餘紙差出ノ件 第二五六丁

○賣藥規則 本朝民鑑坤 第二五七丁

(改正) 賣藥規則第一條第五條第十四條改正ノ件 第二五八丁

(參考) 賣藥免許鑑札ノ件 第二五九丁

(參考) 賣藥取扱手續書中改正追加ノ件 第二六〇丁

(參考) 賣藥營業ノ者履歷書差出ノ件 第二六一丁

(參考) 賣藥鑑札料紙下渡ノ件 第二六二丁

(參考) 賣藥請賣者轉居ノ節届出ノ件 第二六三丁

(參考) 賣藥營業者等開ノ所業ヨリ犯則ニ陷ラサル機説諭スヘキ旨 第二六四丁

(參考) 賣藥取締ノ件 第二六五丁

(參考) 賣藥營業届雛形 第二六六丁

○日本抗法 本朝民鑑坤 第二六七丁

(參考) 鐵山鐵道電信燈臺等願工部省へ可伺出旨 第二六八丁

(參考) 土石掘取規則并開抗願書式更正ノ件 第二六九丁

(參考) 鑛山借區稅ノ件 第二六八丁

○度量衡三器改定規則ノ本朝民鑑坤

(參考) 權衡ノ量目標記スヘキ旨 第二六九丁

○行政警察規則ノ本朝民鑑坤

(參考) 演舌會ト稱シ國事政體ヲ談論
スル者警察官ニ於テ視察ヲ加
ヘ其舉動ニヨリ可差止旨 第二七〇丁

○司法警察規則ノ本朝民鑑坤

(參考) 變死ニ係ル屍解剖ノ件 第二七〇丁

(參考) 罪人受取方ノ儀司法省
至自第二七二丁

(參考) 明治七年第十四號達司
法警察規則廢ルノ件 第二七二丁

(參考) 東京府下警察事務內
務省大警視直管ノ旨 第二七三丁

(參考) 臨時騷擾ノ際海港警備ノ件
至自第二七五丁

○難船救助心得ノ本朝民鑑坤

(參考) 朝鮮國へ渡航ノ
者死狀願戻ノ件 第二七五丁

(參考) 朝鮮人漂着處分
規則定ラレノ件 自第二七七丁
至第二七七丁

(參考) 英國船舶難破救助
費用區別ノ件

自第二七七九丁

○ 內國難破船救助漂流物取扱規則ノ本朝民鑑坤
ノ本卷ニ掲ク

(參考) 浦役場設置ノ件

自第二二八九丁

○ 遺失物取扱規則ノ本朝民鑑坤
ノ本卷ニ掲ク

(參考) 埋藏物掘取届出ノ件

第二八一丁

(參考) 遺失物及盜贓物漂流
物取扱心得被定ノ漂流
件

自第二二九五丁

○ 鳥獸獵規則ノ本朝民鑑坤
ノ本卷ニ掲ク

(改正) 鳥獸獵規則第九條ノ但
書同第十八條追加ノ件

第二九五丁

(參考) 銃砲免許ノ者等需用ノ彈藥
雷管ニ限賣買手續被定ノ件

自第二二九六丁

(參考) 鳥獸獵免狀遺失セ
シ者届出方ノ件

第二九八丁

(參考) 鵝鴉獵規則被定ノ件

自第二三〇〇丁

○ 銃砲取締規則ノ本朝民鑑坤
ノ本卷ニ掲ク

(參考) 銃砲彈藥運送嚴禁ノ件

第三〇一丁

(參考) 明治十年第廿六
號達中追加ノ件

自第三〇二丁

(參考) 銃砲彈藥賣買嚴禁之處給之儀ハ實際入用之分量等詳記シ可願出旨

第三三〇二丁

(參考) 銃獵免狀附與有之外國人ハ銃器賣渡ノ儀ハ地方限リ聞届不苦旨

第三三〇二丁

(參考) 軍用銃獻納ノ節簿冊面加除等ノ事

第三三〇三丁

(參考) 彈藥等賣買ノ儀外國人ニ限リ是迄通リ警視本署ハ願出ヘキ旨

第三三〇四丁

○毒藥劇藥取扱規則 本朝民鑑坤

第三三〇四丁

(參考) 以テヨリシ其他鐵屬製ノ繪具ヲ以テ飲食物ニ着色云々ノ件

第三三〇四丁

○外國船乘組規則 本朝民鑑坤

第三三〇五丁

(參考) 內務省ニ於テ英佛兩國便船乘組切手發行ノ件

自第三三〇六丁

○西洋形商船船長運轉手機關手試験規則 本朝民鑑附錄

自第三三〇七丁

(參考) 運送船船長機關手試験免狀規則施行ノ件

第三三〇七丁

(參考) 海軍省ニ於テ機關科生徒撰擧ノ件

自第三三〇八丁

○北海道産物出港税則 本朝民鑑附錄

自第三三〇九丁

(參考) 積荷成限ノ事

第三三一二丁

(參考) 貨物積卸検査手續ノ件

自第三三一六丁

○船稅規則 本朝民鑑附錄

(參考) 船車賣藥等稅金納期ノ件 第三一六丁

(參考) 船車賣藥等稅金收入方ノ件 自第三一八丁

(參考) 稅金徵收ノ件 第三一九丁

(參考) 船稅收入方ノ義各區務所ニテ取纏速ニ納付可致旨 自第三二四丁

○車稅規則 本朝民鑑附錄

(參考) 御車稅徵收ノ件 第三二四丁

(參考) 同上 同 三二五丁

(參考) 海軍省軍事用車輛ハ課稅相除クノ件 第三二五丁

(參考) 車稅上納期限ノ件 第三二五丁

(參考) 諸車新調檢印願出スノ節ハ該半年度ノ稅金收入スヘキ旨 第三二六丁

(參考) 積荷車大小區別ノ件 第三二六丁

○煙草稅則 本朝民鑑附錄

(參考) 煙草印紙貼用ノ件 第三二七丁

○証券印稅規則 本朝民鑑附錄 卷ノ一〜掲ク

(參考) 証券印稅規則中帳簿調查ノ件 第三二八丁

(參考) 印紙脫漏調査ノ件 第三二八丁

○酒類稅則 本朝民鑑附錄 卷ノ一〜掲ク

(改正) 酒類稅則中改正ノ件 自第三三二九丁 至第三三一丁

(參考) 酒類稅則取扱方ノ件 自第三三三九丁 至第三三三九丁

(參考) 酒類稅則施行ノ件 第三三九丁

(參考) 飲食店等酒類ヲ來客ニ供スル者トシテ鑑札願受ノ件

第三四〇丁

(參考) 諸酒釀造稅徵収ノ件

第三四〇丁

(參考) 釀造酒檢査心得ノ件

自第三四四九丁 至第三四四九丁

(參考) 酒類諸印紙諸營業稅調査ノ件

自第三四九〇丁 至第三四九〇丁

○貢米納方規則 本朝民鑑附錄 卷ノ一〜掲ク

(參考) 地租金納方ノ件 第三五〇丁

(參考) 預米取扱手續書ノ件 自第三五三丁 至第三五三丁

(參考) 代米納取扱手續書ノ件 自第三三五四丁

(參考) 代米上納証書ノ件 第三五六丁

(參考) 地租代米納方ノ件 第三五六丁

(參考) 代米納取扱手續書
中刪除并追加ノ件 第三五七丁

○地租徵收期限 本朝民鑑附錄
卷ノ一へ掲ク

(參考) 租稅未納ノ者處分ノ件 自第三五六〇丁

(參考) 租稅不納身代限處分ニ
付裁判所へ掛合ノ件 第三六〇丁

(參考) 租稅未納ノ者處分ノ件 第三六一丁

(參考) 租稅未納ノ者取扱方ノ件 自第三六六五丁

(參考) 民費ノ儀ハ納期三十日ヲ過レハ直ニ
七十九號公布ニ因リ處分スヘキ旨 第三六六丁

(參考) 租稅未納ノ者仕譯書可差出旨 自第三三六六丁

(參考) 凶歲租稅延納取扱順
序中更正刪除ノ件 第三七〇丁

(參考) 地租金年賦延納上納
証書及仕譯書離形 自第三三七三丁

(參考) 租稅局員凶災檢査ノ件 第三七三丁

(參考) 凶歲租稅追加ノ願取 第三七四丁

○印章 本朝民鑑附錄 卷ノ一ノ掲ク 第三七五丁

(參考) 諸証書ノ姓名ハ必ス自カラ 第三七六丁

(參考) 金穀ニ關スル諸申牒ニ主任ノ官員見留 第三七六丁

○官令揭示心得 本朝民鑑附錄 卷ノ一ノ掲ク 第三七六丁

(參考) 布告達揭示場ノ 至第三七七丁

(參考) 數取調可差出旨 至第三七八丁

(參考) 開拓使官内布告到 至第三七九丁

○奇特者賞與規則 本朝民鑑附錄 卷ノ一ノ掲ク 第三八〇丁

(參考) 奇特者ニ於テ製造ノ木盃各 至第三八一丁

(參考) 賞與施行濟ノ分ハ三 第三八二丁

(參考) 個月取纏メ可差出旨 第三八二丁

(參考) 陸軍省ニ於テ賞納ノ品ト雖モ内 第三八二丁

(參考) 務省ニ於テ賞與取計ノ旨 第三八二丁

(參考) 勅奏任官華族學校ニ献金ノ儀ニ付賞 第三八二丁

(參考) 與申請ノ節ハ年月ヲ記載可差出旨 第三八二丁

(參考) 數村或ハ數十名寄合出 第三八三丁

(參考) 金等ノ賞與施行方ノ件 第三八三丁

(參考) 學校病院等ニ出金拾圓 第三八四丁

(參考) 未滿ノ分取調差出ノ件 第三八四丁

(參考) 諸官員華族ヨリ器物等献納ノ節賞

第三八五丁

(參考) 學校其他ニ於テ速ニ可届出旨

第三八五丁

○ 巡查賞 與規則 卷ノ一ニ掲ク

(參考) 巡查同様ノ働キヲナシ死傷シタル者扶
助料送置候處自家ノ盜難ニ罹リ死傷セ
ル者ハ其限リニアラサル旨

第三八六丁

(參考) 明治十一年內務省乙第
十七號達中正誤ノ件

第三八七丁

○ 燈明番 試驗手續 卷ノ一ニ掲ク

(參考) 紀伊國沙洲ニ假燈明設置ノ件

自第三八九丁

(參考) 本燈落成ニ付假燈廢止ノ件

自第三八九丁

(參考) 根室國納沙布崎燈
臺ニ霧鐘設置ノ件

自第三九二丁

(參考) 相摸國觀音崎燈臺
ニ副燈設置ノ件

自第三九四丁

○ 損傷札引換手續 卷ノ一ニ掲ク

(追加) 金銀貨幣交換手
續中追加ノ件

自第三九五丁

(參考) 金札引換ニ付出應ノ區
戸長ニ手當下渡ノ件

自第三九六丁

○ 河港道路修築規則 卷ノ一ニ掲ク

(參考) 道路種類定メラレノ件

自第 四三九六丁

四四

○學制 本朝民鑑附錄

(參考) 學區取扱事務心得條款
第九條但書削除ノ件

第 四〇〇丁

(參考) 文部省布達八年第五號第七號第十
號第十三號并九年第六號廢止ノ旨

第 四〇〇丁

(參考) 小學教則改正ノ件

自第 四四一丁

(參考) 小學教則ノ件

自第 四四三九丁

(參考) 文部省明治五年三月十七號同九月八日番外十
月十二日番外十一月九日番外十一月十日番
外布達明治六年第二號第二十七號乙第五十
八號第六十一號第六十四號第六十九號第七
十四號第七十五號第七十六號第七十八號第
七十九號第八十八號第九十二號第九十九號第
百十四號第百廿四號第百三十五號四月二十
三日番外布達廢止ノ件

第 四三九丁

(參考) 文部省明治五年八月十
七日番外達廢止ノ件

第 四四〇丁

(參考) 小學教則改正ニ付卒
業証書式被定ノ件

自第 四四二丁

(參考) 官費留學生私ニ内外人ニ被雇
候儀禁止ノ處右ハ被廢候旨

第 四四三丁

(參考) 官費生登用ノ節ハ文
部省ニ打合ニ不及旨

第 四四三丁

○官立師範學校生徒入學心得 本朝民鑑附錄
卷ノ二ニ掲メ

四五

(廢止) 大坂長崎宮城師範學校廢止ノ件 第四四・四丁

(廢止) 師範學校卒業生徒人名報告廢止ノ件 第四四四丁

(參考) 學校補助金配付ノ件 第四四四丁

○官立女子師範學校生徒入學規則 本朝民鑑附錄卷ノ二〜掲ク

(參考) 學校補助金ノ件 第四四五丁

○醫術開業願書式 本朝民鑑附錄卷ノ二〜掲ク

(參考) 醫者又ハ藥店等ニテ傷痕ノ治療ヲ求ムルモノ住所開置〜キ旨 第四四五丁

(參考) 醫業ニシテ藥舖ヲ兼藥舖ニシテ醫業ヲ兼スル儀ハ不相成旨 第四四六丁

(參考) 産婆營業ノ者醫師ノ指揮ナクシテ器械ヲ使用スル儀不相成旨 第四四六丁

○惡病ニ罹ル貧民處分規則 本朝民鑑附錄卷ノ二〜掲ク

(改正) 明治八年第四十九號連第二條改正 第四四七丁

(參考) 天然痘患者届出ノ件 第四四八丁

(參考) 區醫職務心得書ノ件 自第四四八丁至第四五八丁

(參考) 脚下病院開設ノ件 第四五九丁

○書籍館書籍借覽規則 本朝民鑑附錄

(追加) 淺草文庫書籍借覽人心得中追加

第四六〇丁

○博物館物品拜借規則 本朝民鑑附錄

(參考) 博物館物品拜借人心得方條 例第四條へ但書追加ノ件

第四六〇丁

○博物館ニ獻品及出品順序 本朝民鑑附錄

(參考) 京都府下博覽會出品規則

自第四四七六一丁

○米商會社規則 本朝民鑑附錄

(參考) 米商會社仲買人ニ於テ支社分社等取設不相成旨

第四七七丁

○官林及監主火規則 本朝民鑑附錄

(參考) 官林保護ノ件

第四七八丁

(參考) 山林原野取調雛形

自第四四七九丁

(參考) 部分木仕付條例頒布ノ旨

第四八二丁

(參考) 官林掛リニ鑑札下渡ノ件

自第四八四三丁

(參考) 木材切判伐採年度查別ノ件

第四八四丁

○徵兵令 本朝民鑑附錄 卷ノ三〜掲ク

(參考) ノ常備ハ補充定員ノ外剩餘ノ兵申付候旨

(參考) 同上

(參考) 徵兵下調ノ件

(參考) 徵兵下調ノ件

○各地方物産取調規則 本朝民鑑附錄 卷ノ三〜掲ク

(參考) 農産表編成例

○官金取扱規則 本朝民鑑附錄 卷ノ三〜掲ク

(參考) 出納察出張所金銀受渡順序増補ノ件

(參考) 外國費金渡方規則 中外改正追加ノ件

(參考) 爲替出納爲取扱人下定約書案ノ件

(參考) 貨幣通用制限中改正ノ件

(參考) 利割稱呼被定ノ件

(參考) 神社經費金ノ件

自第四八七丁 至第四八六丁

第四八七丁

第四八八丁

第四八九丁

自第四九三丁 至第四九〇丁

自第四九三丁 至第四九〇丁

自第四九〇丁 至第四八七丁

自第五〇四丁 至第五〇一丁

自第五一六丁 至第五一五丁

第五一六丁

自第五一七丁 至第五一八丁

(參考) 社寺遞減祿下渡ノ件

自第五一九丁

(參考) 神興渡御之節帶刀ノ儀

第五一九丁

(參考) 神興渡御之節帶刀不苦旨

第五二〇丁

(參考) 神社經費勘定帳差出ノ件

自第五二一丁
至第五二三丁

(參考) 神宮大麻受不之儀ハ
人民ノ自由ニ可任旨

第五二四丁

○社寺境内地所并舊領地處分規則 本朝民鑑附錄
卷ノ三ニ掲ク

(參考) 神社境内地糶收入ノ件

自第五二四丁
至第五二六丁

(參考) 離末本寺替届出ノ件

第五二七丁

(參考) 轉宗改式ノ件

第五二七丁

(參考) 社寺境内地下渡ノ件

第五二八丁

(參考) 社寺境内地無代價下渡ノ件

第五二八丁

○廢合寺院跡地處分手續 本朝民鑑附錄
卷ノ三ニ掲ク

(參考) 舊修驗宗廢合寺ノ
節見物處分ノ件

自第五二九丁
至第五三〇丁

○民有地處分規則 本朝民鑑附錄
卷ノ三ニ掲ク

(參考) 荒地起返屆離形

自第五三四〇丁

○朱引內河岸地規則本朝民鑑附錄卷ノ三〜掲ク

(參考) 河岸地表札離形

自第五三六五丁

○盜難届心得本朝民鑑附錄卷ノ三〜掲ク

(參考) 盜難届ノ件

自第五三八七丁

○諸業取締規則本朝民鑑附錄卷ノ三〜掲ク

(參考) 賣肉規則第二條第三條改正之件

自第五三九八丁

(參考) 諸藝人開業鑑札ノ件

自第五四二九丁

(參考) 鳥卵經節問屋仲買營業ノ者府稅徵收ノ件

第五四三丁

(參考) 人民所有船巡查ニ於テ調査ノ件

第五四三丁

(參考) 露店商人鑑札ノ件

自第五四四三丁

(參考) 旅人宿規則第七條改正ノ件

自第五四四五丁

(參考) 旅人宿規則第七條改正ニ付營業人ヨリ届出ノ分ハ取束分署へ可届出旨

第五四七丁

(參考) 八品商取締規則第十一條明細帳記載方ノ内刪除

第五四七丁

(參考) 湯屋鑄物職火葬場營業願等內務省~可差出旨

第五四七丁

(參考) 八品商取締規則第十八條改正ノ件

自第五四九丁至第五五三丁

(參考) 牛乳搾取人取締規則

自第五五三丁至第五五九丁

(參考) 違式罪目第六十五條刪除ノ件

第五五三丁

(參考) 牛乳搾取人規則第一條中并第七條但書追加

第五五四丁

(參考) 牛乳搾取人規則改正施行ニ付營業人鑑札引換可願出旨

第五五四丁

○公私諸荷物及人馬繼立 本朝民鑑附錄卷ノ三~揭

(參考) 非常出兵戍兵交番等馬繼立章程改定ノ件

第五五五丁

(參考) 非常備警ノ爲警視以下出張ノ節人馬繼立ノ件

第五五六丁

○疫牛處分條例及傳染病豫防規則 本朝民鑑附錄卷ノ三~揭

(參考) 虎列刺病豫防法心得ノ件

自第五五七丁至第五七九丁

(參考) 下水芥溜掃除ノ件

第五七九丁

(參考) 虎列刺病流行ノ節患者ニ直接ノ危險ヲ冒シ拔群屬精候者申出書 自第五八〇丁至第五八二丁

○禁令 本朝民鑑附錄卷ノ三~揭

(參考) 通用貨幣ヲ溶解シ流用
ヲ缺キ候所爲不相成旨 第五八二丁

(參考) 汚濁水ヲ以テ凍水ヲ
製造スル義禁止ノ件 第五八二丁

(參考) 朱引内ニ於テ鑼
鑼乾製禁止ノ件 第五八三丁

(參考) 市中ニ於テ火ノ番ノ者夜中鐘鼓
ヲ鳴ラシ鉄棒ヲ曳等禁止ノ件 第五八三丁

○貸坐敷娼妓規則 本朝民鑑附錄
卷ノ三ニ掲ク

(參考) 貸坐敷營業規則第八
條中刪除スヘキ旨 第五八四丁

(參考) 貸坐敷營業規則第八條改正 第五八五丁

(參考) 貸坐敷ニ於テ酒食揚代金拂方差
支ノ者警視分署ニ届出ヘキ旨 第五八五丁

○監獄則 本朝民鑑附錄
卷ノ四ニ掲ク

(參考) 懲役人滿期附與金取扱ノ件 第五八六丁

○囚人護送規則 本朝民鑑附錄
卷ノ四ニ掲ク

(參考) 罪囚遞傳送附ノ件 第五八七丁

(參考) 瘋癲人護送方ノ件
自第五八八丁
至第五九〇丁

○水上警察規則 本朝民鑑附錄
卷ノ四ニ掲ク

(參考) 川中～杭木打立ノ者
警視本署～願出ノ件

第五九〇丁

(參考) 水上警察回船禮式被定ノ件

自第五九三丁

○警察出張所設置方本朝民鑑附錄
卷ノ四～掲シ

(參考) 各地方警察署明細書差出ノ件

自第五九六丁

○道路取締規則本朝民鑑附錄
卷ノ四～掲シ

(參考) 道路取締規則犯則者處分ノ件

第五九六丁

(參考) 家屋垣牆等朽腐修補方ノ件

第五九七丁

(參考) 道路取締規則第一條
第三條中說明ノ件

自第五九七丁

(參考) 街路ニ沿ヒタル所有
地内家屋建設ノ件

第五九八丁

○消防規則本朝民鑑附錄
卷ノ四～掲シ

(參考) 出火信號ノ爲本署
内～釣鐘被設ノ件

自第五九九丁

(參考) 出火信號改正ノ件

自第六〇〇丁

○紅茶製法傳習規則本朝民鑑附錄
卷ノ四～掲シ

(參考) 紅茶濫製注意ノ件

第六〇二丁

○起業公債証書發行條例 本朝民鑑附錄卷ノ四〜掲ク

(參考) 起業公債証書發行條例 自第六〇〇六丁
付大藏省ヨリ伺ノ件 至第六〇〇六丁

○旅費定則 本朝民鑑附錄卷ノ四〜掲ク

(參考) 巡查旅費定則中增補ノ件 第六〇六丁

○陸軍恩給令 本朝民鑑附錄卷ノ四〜掲ク

(參考) 戰役死傷者扶助料概則被定ノ件 自第六〇一七丁

本朝民鑑附錄卷ノ五

田中信顯編纂

○內務省職制及章程 本朝民鑑附錄卷ノ四〜掲ク

(參考) 明治十一年三月十八日內務省
乙第二十九號ヲ以府縣〜達

明治八年十二月第二十七號太政官達書ノ內當省事務
章程上款第十八條下款第廿七條左ノ通改正相成候條
此旨相達候事

上款

第十八條 諸銀行及ヒ右類似ノ會社(金錢ヲ貸出シ之ヲ
預リ兩換シ爲換ヲ取組等ヲ以專業トナス者)并株式取
(會社及右類似ノ會社公債証書洋銀等賣買相場立引ヲ

內務省職制及章程

以專業トナス者)及米商會所并鑛山鐵道電信燈臺ニ係
ル會社ヲ除クノ外諸會社ノ規則ヲ創立更正スル事
下款

第廿七條 諸銀行及類似ノ會社(金錢ヲ貸出シ之ヲ預
リ兩換シ爲換ヲ取組等ヲ以專業トナス者)并株式取
引會社及ヒ右類似ノ會社(公債証券洋銀等賣買相場
立ヲ以專業トナス者)及米商會所并鑛山鐵道電信燈
臺ニ係ル會社ヲ除クノ外諸會社ノ設立ヲ准允スル事

○工部省 職制及章程 本朝民鑑乾
開拓使 卷ニ掲ク

(參考) 明治十年二月五日太政官第廿
三號ヲ以官院省使府縣ニ達

一月廿二日

開拓使中准陸軍武官ヲ除クノ外大判官以下被廢官等
左ノ通被定候事

大書記官	四等	權太書記官	五等
少書記官	六等	權少書記官	七等
一等屬	八等	二等屬	九等
三等屬	十等	四等屬	十一等
五等屬	十二等	六等屬	十三等
七等屬	十四等	八等屬	十五等
九等屬	十六等	十等屬	十七等

一月二十六日

工部省中工術一等技長以下被廢更ニ大技長以下ヲ被
置等級左ノ通被定候事

工部省開拓使職制及章程

二月一日

開拓使警部以下官等左ノ通被定候事

- 一等警部 八等
 - 二等警部 九等
 - 三等警部 十等
 - 四等警部 十一等
 - 五等警部 十二等
 - 六等警部 十三等
 - 七等警部 十四等
 - 八等警部 十五等
 - 九等警部 十六等
 - 十等警部 十七等
 - 一等巡查 等外一等
 - 二等巡查 等外二等
 - 三等巡查 等外三等
 - 四等巡查 等外四等
- 但巡查月俸ハ十圓以下ヲ以適宜定ムルヲ得

右相達候事

○府縣職制及章程ノ本朝民鑑乾

(改正) 明治十一年七月廿五日太政官第三十二號ヲ以府縣へ達

明治八年十一月第二十三號達府縣職制并事務章程ヲ廢
シ府縣職制別冊ノ通被定候條此旨相達候事

府縣官職制

府知事 一人 縣令 一人

第一 府知事縣令ハ部内ノ行政事務ヲ總理シ法律及
政府ノ命令ヲ執行セルコトヲ掌ル

第二 府知事縣令ハ内務卿ノ監督ニ屬スト雖モ各省

府縣職制及章程

主任ノ事務ニ就テハ各省卿ノ指揮ヲ受シ

第三 府知事縣令ハ法律及政度ノ命令ヲ執行スル爲

ニ要用ナリトスルトキハ其實施ノ順序ヲ設ケテ部

内ニ布達シ及其適宜處分ヲ許サレタル事件ニ就テ

ハ規則ヲ設立シテ部内ニ布達スルコトヲ得而シテ

發行ノ後ヲ直チニ各省主務ノ卿ニ報告スヘシ

第四 府知事縣令布達若クハ處分法律若クハ政府ノ

命令ヲ相背キ又ハ權限ヲ侵シタルトキハ太政大臣

若クハ各省主務ノ卿ヨリ取消ヲ命セラル、コトア

ルヘシ

第五 府知事縣令ハ行政事務ニ就キ主務ノ卿ニ稟請

ヲ指揮ヲ待テ處分スヘキ者ハ別ニ定ムル規則ニ從

フヘシ

第六 府知事縣令ハ地方稅ヲ徵收シテ部内ノ支費ニ

充ツルヲ得而シテ其豫算決算ヲ具ヘテ內務卿大藏

卿ニ報告スルヲ要ス其府會縣會アル地方ハ之ヲ會

議ニ付スヘシ

第七 府知事縣令ハ屬官ヲ判任進退シ其分課ヲ命ス

第八 府知事縣令ハ郡長以下郡ノ吏員ヲ判任進退シ

郡務ヲ指揮監督ス

第九 府知事縣令ハ非常事變アレハ鎮臺若クハ分營

ノ將校ニ通議シテ便宜處分スルコトヲ得

第十 府知事縣令ハ府會縣會ヲ召集シ及其會議ヲ中
止スルコトヲ得

第十一 府知事縣令ハ議案ヲ發シテ府會縣會ニ付シ

決議ノ後之ヲ認可シ或ハ認可セサルコトヲ得

大書記官少書記官(府ハ大小各々一員ヲ置キ縣ハ

大小ノ内一人ヲ置ク開港所ノ縣事務繁劇ナルハ

上請ニ依リ府ト同シク各々一員ヲ置クコトヲ許

ス)

第一 書記官ハ府知事縣令ヲ輔ケテ部内ノ行政事務

ヲ參判スルコトヲ掌ル

第二 府知事縣令不在ノトキ又ハ事故アルトキハ書

記官ハ代理ノ任ヲ受ク

屬(一等ヨリ十等ニ至ル)屬ハ事ヲ府知事縣令ニ受

ケ庶務ヲ分掌ス

警部(一等ヨリ十等ニ至ル)警部ハ事ヲ府知事縣令

ニ受ケ管内ノ警察ヲ掌ル

郡長(八等相當)一人

第一 郡長ノ俸給ハ地方税ヨリ支出ス一月八十圓以

下各地方ノ便宜ニ從ヒ府知事縣令之ヲ定ム

第二 郡長ハ該府縣本籍ノ人ヲ以テ之ニ任ス

第三 郡長ハ事ヲ府知事縣令ニ受ケ法律命令ヲ郡内

ニ施行シ一郡ノ事務ヲ總理ス

第四 郡長ハ法律命令又ハ規則ニ依テ委任サル、條

件及府知事縣令ヨリ特ニ分任ヲ受タル條件ニ付キ

便宜處分シテ後ニ府知事縣令ニ報告ス

第五 郡長ノ處分不當ナリトスルトキハ府知事縣令

第六 郡長ハ町村戸長監督ス

郡書記(十等ヨリ十七等ニ至ル)定員ナシ
 郡書記ノ俸給ハ地方税ヨリ支出ス一ヶ月二十
 圓以下府知事縣令ノ適宜ニ定ムル所ニ從フ其
 撰任進退ハ郡長ノ具狀ニ依リ府知事縣令ノ命
 スル所ナリ
 市街ノ地ニ置ク所ノ區長並書記ハ總テ郡長郡
 書記ニ同シ
 府縣ノ事務ノ省ニ稟請シテ後ニ處分スヘキ者
 ハ左ノ件々トス
 第一 郡ヲ分テ及數郡ニテ郡長ヲ置キ區ヲ定ムル事

第二 郡區經界ノ紐替及町村ノ飛地紐替ノ事

第三 官給ニ係ル經費ヲ豫算シテ一歳ノ常額ヲ定ムル事

第四 例規ナキ官金出納ノ事

第五 官金管守ノ規則及爲替又ハ預ケノ方法ヲ設ク

第六 府縣官舎及監獄ヲ新ニ建築スル事

第七 水旱災ニ罹リシ者ノ租税延納ヲ許ス事

第八 水火災ニ罹リ家屋蕩盡スル者租税皆濟期限二

ヶ月以外延期ノ事

第九 地種變換ノ事

第十 土地ノ變替ニ依リ地租ヲ減スル事

第十一 地價ヲ檢シテ租額ヲ定ムル事
但シ潰地荒地起返シ又ハ開墾地年期ニ至リ租額
ヲ定ムル此限ニ非ス

第十二 河港道路堤防橋梁開墾等ノ類他管ニ關涉ス
ルモノ及定額外官費ノ支出ニ係ル土功ヲ起ス事

第十三 諸貨下金返納期六個月以外ノ延期ヲ許可シ
又ハ之ヲ棄捐スル事

第十四 官林伐採ノ事
但治承修路ノ爲メ三等ノ竹木ヲ用ユルハ此限ニ
在ラス

第十五 官地官宅及其木石ヲ賣却スル事
第十六 酒類ノ税率ニ用ユル價ヲ定ムル事

第十七 官用ノ爲メ土地ヲ買上ル事

第十八 社寺除稅地ノ境域ヲ更正スル事

第十九 官林拂下ノ事

第二十 官民有禁伐林ノ事

第二十一 森林地及竹木官民有ノ區別ヲ定ムル事

第二十二 鑛山借區境界ノ事

第二十三 鑛山借區稅猶豫并減免ノ事

第二十四 抗法違犯ノ者處分ノ事

第二十五 舊金銀貨及通貨損傷ノモノヲ交換スル事

第二十六 外國人内地旅行ノ事

第二十七 外國人居留地外住居ノ事

第二十八 居留地々所外國人ニ競賣ノ事

第廿九 内外人結婚願ヲ許可スル事

第三十 學校補助金ヲ例規外交済スル事

第卅一 私立學校ヲ停止スル事

第卅二 府知事縣令ノ名ヲ以テ外國人ト條約ヲ結フ

事

第卅三 府知事縣令ノ名ヲ以テ官金辨償トナルヘキ

貸借ノ契約ヲナス事

第卅四 例規ナキ恩典ヲ施行スル事

一 布告布達指令ヲ以テ專任サレタル事件并ニ定規

成例アルノ事件ハ地方官各自ノ責任ヲ以テ處分

シ上司ニ稟スルノ例ニテ其例規ニ依リ難キ

事情アリテ特別ノ處分ヲ要スルモノニ限リ理由

ヲ具シテ申請スルヲ得

一 諸會社設立願諸鐵開採願圖書版權願賣藥願等ノ

條例規則ニ依リ地方官ヲ經由スル者ハ府縣掌管

ノ事務各省ニ稟請スルノ類ト同シカラサルヲ以

テ知事令ハ事實ヲ公証スル爲ニ與書若クハ加印

シテ主務ノ省ニ進達スルモノトス

一 嗣後發行スル法律規則中ノ條件府縣長官ノ上司

ニ稟請シテ然ル後處分スヘキモノハ每件明文ヲ

掲クヘシ

一 事重大ニ屬シ例規ナキモノ及非常ノ事件ヲ除ク

ノ外凡地方ノ常務前條々ニ掲載セサル條件ハ地

方長官ノ便宜處分シテ後ニ報告スルヲ許ス

- 第一 戶長職務ノ概目
- 第二 布告布達ニ町村内ニ示ス事
- 第三 地租及諸稅ヲ取纏メ上納スル事
- 第四 戶籍ノ事
- 第五 徵兵下調ノ事
- 第六 地所建物船舶賃入書入並ニ賣買ニ與書加印ノ事
- 第七 地券臺帳ノ事
- 第八 迷子捨兒及ヒ行旅病人變死人其他事變アルトキハ警察署ニ報知スル事
- 第九 天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫シ者ヲ具狀スル事

- 第九 孝子節婦其他篤行ノ者ヲ具狀スル事
- 第十 町村ノ幼童就學勸誘ノ事
- 第十一 町村ノ人民ノ印影簿ヲ整置スル事
- 第十二 諸帳簿保存管守ノ事
- 第十三 官費府縣費ニ係ル河港道路堤防橋梁其他修繕保存スヘキ物ニ就キ利害ヲ具狀スル事
- 第十四 右ノ外府知事縣令又ハ郡區長ヨリ命令スル所ノ事務ハ規則又ハ命令ニ依リテ從事スヘキ事
- 第十五 其他町村限リ道路橋梁惡水ノ修繕掃除等凡ソ協議費ヲ以テ支辨スル事件ヲ幹理スルハ此ニ掲クル所ノ限ニ在ラズ
- 第十六 地方ノ事務郡區長ニ於テ處分シテ後知事令ニ報告ス

- ルヲ得ルモノ左ノ件々トス
- 第一 徵稅並地方稅徵收及不納者處分ノ事
- 第二 徵兵取調ノ事
- 第三 身代限財產取扱ノ事
- 第四 逃亡死亡絕家ノ財產處分ノ事
- 第五 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事
- 第六 電線直路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事
- 第七 河岸地借地檢査ノ事
- 第八 職遊獵願威銃願ノ事
- 第九 印紙野紙賣捌願ノ事
- 第十 小學校資金ノ事

右ノ外府知事縣令ニ特ニ委任スル條件

(參考) 明治十年一月十六日太政官第六號ヲ以テ府縣ニ達

- 府知事權知事等級左ノ通被定候事
- 知事 四等 權知事 五等
- 府知事權知事縣令權縣令月俸左ノ通被定候事
- 府知事 月俸 貳百五十圓
- 權知事 全 貳百圓
- 縣令 全 貳百五十圓
- 權令 全 貳百圓
- 府縣參事以下被廢等級左ノ通被定候事
- 大書記官 六等 月俸 百圓

府縣職制及章程

少書記官	七等	月俸	八拾圓
以上奏任			
一等屬	八等	月俸	六拾圓
二等屬	九等	全	五拾圓
三等屬	十等	全	四拾五圓
四等屬	十一等	全	四拾圓
五等屬	十二等	全	三拾五圓
六等屬	十三等	全	三拾圓
七等屬	十四等	全	二拾五圓
八等屬	十五等	全	二拾圓
九等屬	十六等	全	十五圓
十等屬	十七等	全	十二圓

以上判任			
等外	一等	月俸	十圓
等外	二等	全	八圓
等外	三等	全	七圓
等外	四等	全	六圓

右相達候事

(參考) 明治十年九月十一日內務省
乙第八十二號ヲ以府縣へ達

本年第六號ヲ以府縣參事以下被廢候旨公達ニ付テハ
 仕丁不置儀ト可相心得之處往々据置之向モ有之不都
 合ニ候得共當六月以前改正未濟ノ分ニ限リ据置七月
 以後ハ一般判任官月給額ヲ以支辨候様可致爲必得此

旨相違候事

(參考)

明治九年七月二十九日太政官第七十五號ヲ以諸縣ニ達ス

縣官任期例左ノ通相定候條此旨相違候事

縣官任期例

- 一 凡ソ縣令ニ任スル者ハ一任十二年トス毎三年一期トス毎期其治績ヲ考フ
- 一 初メ縣ノ長官ニ任スル者ハ先ツ權官ニ試ム權官タルト三年職ニ稱フ者ハ進メテ正官トナス正官タルト三年職ニ稱フ者ハ月俸五十圓ヲ加フ又三年職ニ稱フ者ハ又五十圓ヲ加フ勅任トナス十二年任滿ルノ後仍ホ任ヲ續クコトヲ得

一期ヲ經テ正長官トナル者ハ必ス其本任ノ縣ニ本籍ヲ定ム

- 一 十二年ニ滿テ任ヲ辭スル者ハ常法ノ滿年賜金ニ換シ者ハ前任ノ年間ハ常法賜金ニ依ル其十二年ヲ除キ仍ホ任ニ居ル者ハ猶ホ其十二年ノ後ノ任間一年毎ニ一月俸金ノ半ヲ賜フテ常法ニ依ル
- 一 參事ハ任期ナシ但シ初任ハ先ツ權官ニ試ミルコト長官ノ例ニ同シ
- 一 參事ハ三年毎ニ其勤怠ヲ考ヘ其勉勵衆ニ超ユル者ハ一月俸金ヲ賞賜ス
- 一 屬官ハ一年毎ニ其勤怠ヲ考ヘ其勉勵衆ニ超ユル者

ハ一月俸三分ノ一金賞賜ス
一縣ノ委任官ニ任シ若クハ俸ヲ増ス者ハ出京ヲ命ジ
式ニ依リ宣旨ヲ付ス任所ニ於テ命ヲ拜スルコトヲ得
ス

變例

一現ニ縣ノ長官タル者ハ本例發行以前本任ノ年數ハ
任期ヲ追算スルコト本例ニ依ル其他府ノ權知事縣ノ
長官ヨリ轉任シタル者及ヒ曾テ府ノ權知事縣ノ長
官タリシ者ハ並ニ其ノ前任ノ年數ヲ以任期ヲ追算
スルコト亦本例ニ依ル
一他官ヨリ縣ノ長官ニ轉任スル者前任四等官ノ者ナ
レハ直ニ正長官トナスト雖モ仍ホ初期ノ例ヲ以

テシ順次任期ヲ逐フコト本例ニ依ル

○議院憲法 本朝民鑑乾ノ卷へ掲ク

(改正) 明治十一年三月十五日太
政官第九號ヲ以府縣へ達

議院憲法并議事規則別冊ノ通改定被仰出候條此旨相
違候事

地方官會議憲法

第一條 地方官會議ハ每年一度開クヲ以テ常例トス
其開閉期日ハ政府ニ於テ之ヲ定メ各地方長官ヲ召
集スヘシ長官若シ參集スルコト能ハサレハ書記官
ヲ出シテ代理セシムヘシ

議院憲法

第二條 各省卿若シハ其代理人ハ議席ニ列シ説明討論スルヲ得

但シ可否ノ數ニ算入スヘカラス

第三條 開閉院ノ式ヲ執行スル時ハ 天皇陛下ノ親臨アルヘシ

第四條 凡ソ議事ノ可否ヲ決スルハ多數ニ依リ同數ナル時ハ議長之ヲ決スヘシ

第五條 凡ソ議案ハ議長ヨリ之ヲ衆議ニ付シ其可否ヲ決定シテ上奏シ 宸裁ヲ仰シヘシ

第六條 凡ソ議員ノ建議セント欲スル者ハ議案ヲ草シ先ツ之ヲ議長ニ呈スヘシ

第七條 議長ハ特旨ニ依リ以下ノ議員ハ議長ノ上奏

ニ依リ之ヲ命ス其判任以下ニ係ル者ハ議長專ラ之ヲ命スヘシ

第八條 議員職制ニ議長會議ヲ總提シ議院憲法并議事規則ヲ執行スルコトヲ掌ルニ幹事長議長欠席ノ時ハ其職務ヲ代理シ小會議ノ議長ト爲ルコトヲ掌ル餘ハ幹事ニ同シニ幹事議長ノ指揮ニ依リ議院一切ノ事務ヲ幹理スルコトヲ掌ルニ書記官議案ヲ修理シ記録ヲ管シ其他一切ノ庶務ヲ掌ルニ司計長議院ノ用度ヲ掌ルニ屬庶務ヲ分掌ス

議事規則

第一條 凡ソ會議ハ午前第九時ニ始リ午後第四時ニ終ル時宜ク以テ之ヲ伸縮スルハ議長ノ指揮ニ依ル

第二條 議員着席ノ順序ハ豫メ圖取ヲ以テ之ヲ定メ
毎會其席ニ着クヘシ

第三條 凡ソ議案ノ可否ハ三次會ヲ經テ決スルモノ
トス其順序左ノ如シ

第一次會 議長先ツ議案ヲ各議員ニ分付シ且書記
官ヲシテ之ヲ朗讀セシムヘシ此時猶議案ノ主旨
要領ヲ悉サシムカ爲メ議長若クハ主任ノ官員之ヲ
説明スヘシ之ヲ議案ヲ紹介スト云此時其議案ニ
付疑問ノ條件アリト思考スル者ハ主任者ニ向ヒ
之ヲ質問スヘシ

第二次會 議長先ツ起ツテ前會紹介スル所ノ議案

ヲ逐條審議セシムコトヲ指揮シ書記官ヲ命ジ更ニ

議案ヲ朗讀セシム(徐々明明タルヲ要ス)每條終テ

各議員ハ其所見ヲ陳述シ第六條ニ依リ互ニ之ヲ

討論審議スヘシ

第三次會 前會討論ノ次第ヲ再考シ各其可否ヲ決

論スヘシ其可否ノ數ヲ算スルノ方法ハ各員ヲシ

テ可否ヲ書シテ投票セシム或ハ起立ヲ以テ之ヲ

定ムルトモ臨時議長ノ指揮ニ依ルヘシ

第四條 凡ソ議案ノ總體ニ付テ可ト決スルモ猶其方

法ヲ修正スヘントスル者ハ議長ノ意見ヲ以テ議員

若クハ書記官ノ内ヨリ委員ヲ撰任シ之ヲ修正セ

シ然ル後小會議ニ付シテ之ヲ決定セシムヘシ

第五條 議案未タ成ラスレテ先ツ總體ニ付テ可否ヲ決スヘキモノハ二次三次會ヲ用ヒス直ニ決議スルコトアルヘシ

第六條 會議中發言セシト欲スル者ハ先ツ起立シテ議長ヲ呼ビ其許可ヲ得ヘシ二人以上同時ニ起立スルヲ許サス若シ二人以上同時ニ起立スル時ハ議長其一人ヲ指揮シテ發言セシムヘシ討論問答ト雖モ必ス議長ニ向ヒ演舌スヘシ其互ニ相應答スルヲ許サス著座ノ儘發言スルヲ許サス

第七條 凡一議案未タ了ラサル間ハ他ノ事件ヲ發議スヘカラス

第八條 凡ソ議員ハ一會一事ニ付再度發言スルヲ得

ス其誤解ヲ辨明シ及ヒ議案ノ發議者各員ノ問ニ答フル等ハ此限ニ在ラス且小會議ニ於テハ再三發言スルヲ得

第九條 議長ノ意見ヲ以テ議員ヲ數組ニ分テ每組幹事一人ヲ投票セシメ組中諸傳達等ノ事ヲ掌ラシムヘシ

第十條 開院中ハ各員毎日出頭シテ議事關係ノ事務ヲ調査スヘシ其時間ハ繁簡ヲ計リ臨時之ヲ定ムヘシ

第十一條 議員半數以上欠席ノ時ハ會議ヲ開クヘカラス

第十二條 會議中議論冗長ニ亘リ或ハ騷擾ノ景形ア

ル時ハ議長ノ意見ヲ以テ之ヲ差止ムルコトアルヘシ
 第十三條 議事ノ始終ハ號鐘ヲ以テ之ヲ報スヘシ
 第十四條 議事規則ヲ改正刪除スルノ建議アル時ハ
 議長之ヲ取捨スヘシ

○警視局職制及章程 本朝民鑑乾
 卷ハ揭ク

(參考) 明治十年十一月九日太政官第八
 十三號ヲ以官院省使府縣ニ達

十一月二日

内務省中警部官等左ノ通被改候事

大警部 八等 權大警部 九等

以上奏任

一等中警部	十等	二等中警部	十一等
三等中警部	十二等	一等少警部	十三等
二等少警部	十四等	二等少警部	十五等
一等警部補	十六等	二等警部補	十七等

右相達候事

(參考) 明治十年十二月廿八日太政官第
 百四號ヲ以官院省使府縣ニ達

警視官以下禮帽横線左ノ通改定候條此旨相達候事

警視局職制及章程

官名	大警視	正	中警視	正	少警視	正	大警部	一等	二等	三等	中警部	一等	二等	少警部
前章	日章金 經一寸五分	同	上	同	上	同	上	日章具鍮 經一寸五分	同	上	同	上	同	上
橫線	金五分一條 金一分三條	金五分一條 金一分二條	金五分一條 金一分一條	金一分四條	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
官名	二等警部補	一等巡查	二等巡查	三等巡查	四等巡查									
前章	同	上	日章白銅 經一寸五分	同	上	同	上	同	上	同	上	同	上	同
橫線	同上	一條	橫色二分四條	同上	三條	同上	二條	同上	一條	同上	一條			

(禮帽圖雖形略之)

○ 電信條例 本朝民鑑乾

(參考) 明治十年八月十六日 工部省第十壹號布達

陸奧國今別港ヨリ渡嶋國福島灣ノ間海底電信線路へ
標示ヲ設候儀明治七年(十月)第二十七號ヲ以テ及布達
置候處今般浮標ノ形體並ニ位置トモ別紙圖面ノ通相
改候ニ付右線路浮標以內ニ於テ船艦投錨ハ勿論漁業
等堅ク禁止候條此旨布達候事

(參考) 明治十年九月廿二日 工部省第十二號布達

今般東京ヨリ越後國新潟迄電信線架設九个所へ分局
ヲ置キ別紙ノ通音信料相定メ現今埼玉縣下浦和同熊
谷兩分局落成十月一日ヨリ爲試通信取扱候條此旨布
達候事

但他ノ分局開業ノ節ハ其都度可及布達候事

電信條例

和文		電信賃表		支線		和文ハ右		歐文ハ左	
東京	浦和	熊谷	前橋	高崎	上田	今町	柏崎	山雲崎	新潟
七錢	九錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	七十三錢	十五錢	十七錢	十九錢	廿一錢
廿五錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	七十三錢	十五錢	十七錢	十九錢	廿一錢
浦	熊	前	高	上	今	柏	山	雲	崎
廿五錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	七十三錢	十五錢	十七錢	十九錢	廿一錢
一音信字數	ノ計算其他	ノ方法ハ總テ	從來定ムル所ノ	例規ニ據ルヘシ	一海外音信ハ東京以北後志國小樽	ニ至ルノ例ニ準ス何ノ局ニ於テ			

(參考) 明治十年十月二日工部省第十三號布達

發着スルトモ東京迄ノ一音料一弗トナシ長崎迄通計四弗ト定ム

岡山縣下岡山電信分局ヨリ愛媛縣下九龜高松松山宇和島及ヒ高知縣下高知德島ニ至ル電信線即今九龜高松迄架設落成兩所ニ分局ヲ置キ本月五日ヨリ爲試通信取扱候間明治八年(三月)當省第五號布達電信表(東京以西)和歐文トモ別紙ノ通追加候條此旨布達候事

但松山外三局開業ノ儀ハ遲テ可及布達候事

○岡山分局ヨリ四國中各分局ヘノ一音信料ハ歐和文トモ表面通タルヘシ岡山以東各分局ヨリ九龜分局

電信條例

四〇

ノ和歐文音信料ハ廣島分局ト同シ松山高松兩分局
 ハ山口分局ト同シ宇和島高知德島ノ三分局ハ
 ハ赤間關分局ト同シ岡山以西各分局ヨリ九龍分局
 ハノ和歐文音信料ハ神戸分局ト同シ松山高松兩分局
 ハ大坂分局ト同シ宇和島高知德島ノ三分局ハ
 ハ堺分局ト同シ

和文電信賃錢追加表

和文	歐文	右和文	左歐文	岡山		丸龜		高松		松山		德島		宇和島		高知	
				九錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢
				高		松		德		宇		高		知			
				九錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢	五十一錢

德	十三錢	十三錢
宇	五十一錢	五十一錢
高	九錢	五十一錢

高知

(參考) 明治十年十月十七日
 工部省第十五號布達

福岡縣下小倉ヨリ大分縣下中津及大分マテ電信線架
 設兩所ニ分局ヲ置キ別紙ノ通音信料相定メ並ニ熊本
 縣下熊本ヨリ同八代佐敷鹿兒島縣下加治木ニ架設分
 局ヲ置キ佐敷ノ音信ハ明治八年三月當省第五號布達電
 信表ノ通八代ハ佐敷ト同シ加治木ハ鹿兒島ト同様當
 分相定メ右五分局本月二十日ヨリ爲試通信取扱候條
 此旨布達候事

電信條例

和文 電信賃錢表 右和文 左歐文

	小倉	中津	大分
小	七錢	九錢	
中	廿五錢	五十錢	
大	廿七錢	廿五錢	

○小倉以東以西各分局ヨリ
 中津へノ和文一音信料ハ
 小倉へノ料金ニ錢ヲ加
 へ大分へハ四錢ヲ加フ
 ○小倉以來各分局ヨリ中津へノ歐文一音料ハ福岡ト
 同シ大分へハ佐賀ト同シ小倉以西各分局ヨリ中津
 へハ赤間關ト同シ大分へハ山口ト同シ

(參考) 明治十年十一月十日
 工部省第十七號

今般愛知縣下三河國岡崎驛へ電信分局設置別紙ノ通
 音信料相定メ本月十五日ヨリ爲試通信取扱候條此旨

布達候事

和文

岡崎分局ヨリ隣局名古屋及ヒ豊橋へハ一音信料金六
 錢ヲ拂フヘシ
 豊橋以東各分局ヨリ岡崎分局へノ音信料ハ豊橋へノ
 料金ニ金壹錢ヲ加へ名古屋以西各分局ヨリハ名古屋
 へノ料金ニ金壹錢ヲ加へ拂フシ

歐文

岡崎分局ヨリ隣局名古屋及ヒ豊橋へハ一音信料金二
 十五錢ヲ拂フヘシ
 豊橋以東分局ヨリ岡崎分局へノ音信料ハ名古屋ト同
 シ名古屋以西各分局ヨリハ豊橋ト同シ

電信條例

(參考) 明治十年十一月七日
工部省第十六號布達

熊本縣下佐敷電信局ノ儀ハ都合有之本月十日限リ閉
局候條此旨布達候事

但明治八年三月當省第五號布達電信表中佐敷ハ相除
キ八代ヲ加ヘ候事

(參考) 明治十年十二月八日
工部省第十九號布達

愛媛縣下高松電信分局ヨリ高知縣德島ニ至ル電信架
線即今落成ニ付同所ニ分局ヲ設置シ本月十五日ヨリ
爲試通信取扱候條音信料ノ儀ハ本年十月當省第十三號
布達電信賃錢追加表ノ通可相心得此旨布達候事

(參考) 明治十年十二月十三日
工部省第二十號布達

大分縣下延岡ヨリ鹿兒島縣下宮崎及ヒ鹿兒島ニ至ル
電信架線落成有之三个所ハ分局ヲ設置シ本月十五日ヨ
リ爲試通信取扱候條音信料ノ儀ハ別紙表面ノ通有之
候條此旨布達候事
和文電信賃錢表
右和文
左歐文

	大	大分	延	宮	鹿兒
	廿七	延岡	廿七	宮崎	鹿兒
	五錢	宮崎	五錢	鹿兒	嶋
	九錢	鹿兒	九錢	嶋	嶋
	五十一	鹿兒	五十一	嶋	嶋
	錢	嶋	錢	嶋	嶋
	廿七	鹿兒	廿七	嶋	嶋
	五錢	嶋	五錢	嶋	嶋
	錢	嶋	錢	嶋	嶋

至	自	福岡	佐賀	久留米	熊本	八代	長崎
中津	八錢	五錢	五錢	十二錢	十五錢	十五錢	十二錢
大分	十一錢	十二錢	十四錢	十五錢	十五錢	十三錢	十四錢
延岡	十二錢	十四錢	十五錢	十三錢	十一錢	十一錢	十六錢
宮崎	十四錢	十五錢	十三錢	十一錢	九錢	十錢	十七錢

一大分ヨリ延岡及宮崎へノ和歐文音信料並ニ小倉以西各分局ヨリ中津以下三分局へノ和歐文音信料ハ表面ノ通タルヘシ

一大分以東各分局ヨリ延岡以下各分局へノ和文一音信料ハ一分局ヲ經ル毎ニ二錢増拂フヘシ

但シ小倉以東以西各分局ヨリ鹿兒嶋分局へハ明治八年三月當省第五號布達ノ通タルヘシ

一小倉以東各分局ヨリ延岡へノ歐文一音信料ハ久留米ト同シ宮崎へハ熊本ト同シ

但シ中津ヨリ延岡へハ金五十錢宮崎及ヒ鹿兒島ハ金一圓ヲ拂フヘシ

(參考) 明治十一年三月十五日
日工部省第四號布達

一 海外電機通信ノ儀本月二十五日ヨリ明治八年(即西曆千八百七十五年)魯國聖彼特堡府ニ於テ議定ノ萬國電信公法ニ從ヒ取扱候事

但右ニ付諸規則ハ最寄電信分局ニ於テ承知可致

電信條例

(參考) 明治十一年三月十五日
日工部省第三號布達

今般東京府下第一大區十小區木挽町十丁目十一番地
ニ於テ電信中央局ヲ設置シ本月廿五日開局通信取扱
候ニ付テハ同府下築地電信分局ノ儀ハ同日限リ廢止
候條此旨布達候事

一 內國和文通信之儀從前本文貸錢ノニ取立來候處來
四月十五日ヨリ出狀人受信人共住所姓名等ニ至ル
迄本文同一ノ割合ヲ以テ貸錢可取立候事
右布達候事

(參考) 明治十一年三月廿三日
日工部省第五號布達

三重縣下桑名ニ電信架線落成同所ニ分局ヲ設置シ來
四月一日ヨリ開局通信取扱ヒ音信料ノ儀ハ別紙表
面ニ通シ候條此旨布達候事

和文 桑名分局ヨリ隣局名古屋及ヒ四日市ニハ一
音信料金六錢ヲ拂ヒ津ニハ金八錢ヲ拂フヘシ
東京其他東西各分局ヨリハ名古屋ニ料金ニ壹
錢ヲ加ヘ拂フヘシ
歐文 桑名分局ヨリ隣局名古屋及ヒ四日市ニハ一
音信料金二十五錢ヲ拂ヒ津ニハ金五拾錢ヲ拂フ
ヘシ
名古屋以東各分局ヨリハ岐阜ト同シ名古屋以西
四九

電信條例

各分局ヨリハ豐橋ト同シ

五〇

(參考) 明治十一年四月四日

工部省第七號布達
海外通信料ノ義來ル五月一日限り從前ノ割合ヲ相應
シ同日ヨリ日本國內何レノ場所ヨリ發着候トモ一語
ニ付墨銀二十錢ト相定候條此旨布達候事

(參考) 明治十一年四月廿九日

工部省第九號布達
今般長野縣下信濃國上田マテ電信線落成來ル五月一
日ヨリ同所電信分局ニテ通信取扱候條此旨布達候事

(參考) 明治十一年五月二十一日

工部省第十號布達
高知縣下撫養山口縣下三田尻へ電線架設右兩所へ分
局ヲ設置シ撫養ハ六月一日ヨリ三田尻ハ同月十五日
ヨリ開局音信料ノ儀ハ別紙ノ通有之候條此旨布達候
事

撫養電信分局音信料

- 一 撫養分局ヨリ隣局及ヒ高松及ヒ德島へハ和文一音
信料金七錢歐文全ク金二十五錢ヲ拂フヘシ
- 一 四國中其他岡山以東以西各分局ヨリ撫養へノ和歐
文音信料ハ德島ト同シ
- 三田尻電信分局音信料
和文

- 一 三田尻分局ヨリ隣局德島及ヒ山口へハ一音信料金

電信條例

五二

六錢ヲ拂フヘシ

一 廣島以東分局ヨリ三田尻ヘハ廣島ヘノ料金ニ金一
 錢ヲ加エ山口以西各分局ヨリハ山口エノ料金ニ金
 一錢ヲ加ヘ拂フヘシ

歐支

一 三田尻分局ヨリ隣局廣島及ヒ山口ヘハ一音信料金
 二十五錢ヲ拂フヘシ

一 廣島以東各分局ヨリ三田尻ヘハ山口ト同シ山口以
 西各分局ヨリハ廣島ト同シ

(參考)

明治十一年七月十九日工部
 省電信局ヨリ各分局ヘ達

筑前國若松電信分局ハ是迄二里以外ノ場所ニ付郵便

稅別仕立脚夫ヲ以テ送付シ來候處今般新道相開里程
 減縮陸路一里五丁余ト海路十六丁ノ趣ニ付向後小倉
 分局配達管内ニ編入候條電報願出ノ節ハ屆賃定規ノ
 通取立可申此段相達候事

○出版條例

本朝民鑑乾
 卷一揭シ

(參考)

明治十年五月七日
 文部省第四號布達

文部省藏版翻刻許可ノ圖書ニ就テ傍訓註解繪畫等ヲ
 加ヘ又ハ文字ノ増減シ原本ノ體面ヲ變換シテ刊行セ
 シトスル者ハ草稿ヲ以テ一應文部省ヘ可伺出此旨布
 達候事

出版條例
 地租改正條例

○地租改正例條

本朝民鑑乾
ノ卷一揭

(參考) 明治十年十月四日太
政官第七十號布告

明治六年七月第二十七十二號地租改正條例第四章ニ地
租改正ノ上ハ田畑ノ稱ヲ廢シ總テ耕地ト唱フヘキ旨
布告候處詮議ノ次第有之ニ付自今田畑ノ稱併用スヘ
シ此旨布告候事

(參考) 明治十年五月八日地租改
正事務局ヨリ府縣ヘ達

明治九年一月乙第三號ヲ以テ非常ノ勞費ヲ掛ケ開墾
地ニ宅地處分ノ儀相達置候處左ノ通更正增加候條此
旨相達候事

第一條

地租改正後民有山野ノ嶮岨巖石等ヲ墾平シ或ハ池沼
ノ類ヲ埋堆シ其素地ノ全體ヲ變換シテ宅地トナシ非
常ノ勞費アルモノハ費力ノ淺深ヲ審査シ相當年季ヲ
定メ年季中素地ノ地價ニ據リ收税シ其他河海湖水等
ヲ無代下與シ之ヲ埋堆シテ宅地トナスモノハ相當免
稅年季ヲ附與スヘキモノトス
但年季ハ伺ヲ經テ定ムヘシ

第二條

地租改正後民有ノ田畑及ヒ山野ヲ宅地トナスモノハ
改正地價据置期限年度中ハ素地ノ稱ニ据置ヘシ

第三條

地租改正例條

民有ノ山野池沼等耕地ニ開墾ノ許可ヲ得テ歛下年季中其持主ノ便宜ニヨリ宅地トナスモノモ年季中ハ耕地ト一般歛下地ニ据ヘ置クヘシ

第四條

荒地免稅年季中宅地トナスモノハ宅地トナリタル翌年ヨリ該宅地相當ノ地價ヲ定メ課稅スヘシ

但池成沼成等ノ荒地ヲ埋堆シ宅地トナスカ如キ非常ノ勞費アルモノハ伺テ經テ其年季中免稅ニ据置ヘキモノトス

(參考)

明治十年五月三日地租改正事務局番外

地租改正費繰替金ノ儀卒業ノ上一時返納ノ見込等

以追々延期申出候向モ有之候處改正既濟候向者券狀追々下與証印稅漸次收入ノ順序ニ至リ候ニ付是迄申立候期限ニ不拘收入ノ分一个月限取廻九年地租改正事務局乙第十號達ニ照準紙價ヲ引去候殘額ハ翌月中大藏省ニ返納地租改正事務局ニ届出候様可致尤以降改正濟ノ向ハ同様可相心得事

(參考)

明治十年五月十八日東京府乙

第十四號布達ニ付テハ調査中地所賣買セシモノト雖トモ改正地券授與ノ者ヨリ過不足精算可致管ニ付其際不都合無之様豫テ可相心得旨區内無洩可及諭達置此旨相達候事

地租改正條例

(參考) 明治十年九月十一日地租改正事務局甲第二號

明治九年五月當局甲第一號布達へ左ノ壹項追加候條此旨布達候事

(荒地其他云々壹通ニ付証印稅壹錢ノ次へ)荒地起返及ヒ開墾歟下年季明地其他一筆地ヲ數筆ニ分裂數筆地ヲ一筆ニ合併等ニテ所有主變換セサル地券書換証印稅

壹通ニ付 証印稅壹錢

(參考) 明治十年五月廿三日東京府丙第百三十二號ヲ以朱引内區戶長へ達

地租改正ニ付テハ昨九年以來取調手續順次相達地盤稍確實ニ歸レ既ニ地位等級表ニ過半差出不日地價

取調方法可相達ニ付テハ右整頓ノ上別紙離形心得書等ニ準據シ各一筆限リノ地價帳及ヒ繪圖ヲ調製シ可差出此旨相達候事
但差出期限ハ追テ可相達事

用紙美濃紙半枚ニ二筆ツ、可認

地價取調帳

第何大區何小區

何町何町何町
何町何町何町
計何个町

此ノ雜形ハ每町ト一小区ノ體裁ヲ併テ示スモノ
 ナレハ一町毎合計上地種内譯等明記シ各町ノ合
 計ニ就キ一小区ノ總計上尙又内譯ヲ掲ケ與書調
 印ハ小区ノ最末ニ記載スヘシ
 但等級ハ乙號表ノ分ヲ掲クヘシ

何町

朱書番號ハ舊番ノ分黒字ハ今般別紙心得書ニ準
 據シ更ニ順次一筆毎改正セシ新番ヲ附スヘシ

(朱) 何番地

壹番地

(朱) 何等 一宅地何程

他國他郡村町ノ者ニ
 候得ハ肩書スヘシ

此地價何程

何ノ某印

外何程

畦地

外書畦地ハ小树ノ類茂立スルモ土砂ヲ扞止スルマ
 テニ止リ他ノ用ヲ爲サ、ルモノヲ爰ニ記載スヘシ

(朱) 何番地

二番地

一何省用地何程

官有地

此地價何程

該地ハ比隣相當ノ地價ヲ附スヘシ

(朱) 何番地ノ或ハノ内
三番地

(朱) 何等 一宅地何程
此地價何程

何ノ某印

(朱) 何番地ノ或ハノ内
四番地

(朱) 何等 一田反別何程
此収獲米何程

何ノ某印

此地價何程
外何程

畔敷

外荒地何程 明治何年ヨリ何年迄何个年引

(朱) 何番地ノ内一番或ハ二番

五番地

(朱) 何等 一畑反別何程
此收獲麥何程

何ノ某印

此地價何程

外何程

畔敷

(朱) 何番地

六番地

一下氷敷地何程

何ノ某印

地租改正條例

自己ノ勝手ヲ以テ取設シ下水ハ總テ一筆内ニ取調
ヘシ自然民有地ニシテ一町或ハ一區ノ便益ニ供ス
ル下水ノ中間ヲ疏通シ一筆ヲナセシ分ノミ爰ニ記
ス

(朱) 何番地

七番地

(朱) 何等 一公立小學校地何程

區戸長印

此地價何程

中學ハ區長小學ハ戸長捺印スヘシ

(朱) 何番地

八番地

一官立學校地何程

官有地

此地價何程

(朱) 何番地

九番地

一何々地何程

官有地

耕宅地其他鐵道敷地公園地等官有地第三種ニ該ル分
ハ其種類ニ寄リ爰ニ掲ク公園河岸地ノ如キ番號ナキ
モノハ固ヨリ舊番號ヲ記載スルニ不及新番號ノミヲ
記載スベシ

(朱) 何番地

十番地

官地ナルトキハ

何社

地租改正條例

一 社地 地 敷 何程
堂 宇 地 敷 何程
此地價何程

官 有 地
民地ナルトキハ
何 社
何ノ某印

民有地ニアル共有社堂宇敷地ハ宅地同様地價ヲ掲
クヘシ其民有ニアラサル分ハ地價ヲ掲ケス
但村社以上ハ次例ニ準ス

(朱)
何 番 地
拾 壹 番 地
一 社 地 何 程

官地ナルトキハ
何 社
官 有 地
民地ナルトキハ
何 社
但 村 社 敷
社 印

從來民有稅地ノ社ト雖モ其社所有ナレハ鄉村社ノ分ハ
除稅ノ積取調ヘシ尤官有地ナレハ無印民有地ナレハ社
印又ハ戸長捺印ス又公園地中ニ孕ル社地ハ境内ヲ區畫
セサルカ故ニ公園地ノ部ニ組入ヘシ

(朱)
何 番 地

拾 二 番 地

一 寺 地 何 程
此地價何程

官地ナルトキハ
何 寺 院
官 有 地
民地ナルトキハ
何 寺 院

官有地ナレハ無印民有地寺持ナレハ等級ヲ記入シ
寺印ヲ捺ス公園地中ニ孕ル寺院ハ前件ニ同シ

(朱)
何 番 地
拾 三 番 地
一 墓 地 何 程

共有ナルトキハ
區 戸 長 或ハ 總 代 人
何ノ某印

地租改正條例

但 共有カ
一人持カ

壹人持ナルトキハ
何ノ某印

寺院境内ニ孕リ星散スル分ハ其境内ノ内書ニ載ス
ルモノトス

(朱) 何番地

拾四番地

(朱) 何等 一池歟何程
林

何ノ某印

此地價何程

(朱) 何番地

拾五番地

(朱) 何等 一宅地何程

何ノ某印

此地價何程

寺持ナレハ寺印ヲ押若任職自分買得ル判然タレハ何ノ
何某ト記載スヘシ

(朱) 何番地

拾六番地

一地坪何程

何ノ某印

但明治何年ヨリ何年迄何ノ年歟下引

(朱) 何番地

拾七番地

(朱) 何等 一河岸地何程

何ノ某印

地租改正條例

此地價何程

民有ノ河岸地ヲ云官有地ナレハ第九項ニ照シ順次ニ之ヲ掲クモノトス

合坪數何程
反別何程

此譯

民有地第一種

宅地何程

地價何程

普通ノ宅地ノミヲ爰ニ掲クヘシ

外何程

畦地

宅地何程

地價何程

內譯

公立中學校地何程

地價何程

社地何程

地價何程

從來民有ノ稅地ニアルモノヲ云尤鄉村社以上ノ分
具社所有ナルトキハ民有地第二種ニ紐入ヘシ

寺院地何程

地價何程

從來有稅地ニアルモノヲ云フ

河岸地何程
地價何程

官有ニアラサル河岸地ヲ云フ

田反別何程

此收穫米何程
地價何程

外何程

畔敷

外荒地何程 明治何年ヨリ何年迄何个年引

畑反別何程

此收穫麥何程
地價何程

外何程

畔敷

池反別何程

地價何程

林反別何程

地價何程

坪數何程

地價何程

小

反別何程

地價何程

外何程

畔敷

外荒地何程 明治何年ヨリ何年迄何个年引

外地坪何程 明治何年ヨリ何年迄何个年引

民有地第二種
鄉村社何程

從來民有地ニアル鄉村社ヲ云フ

墓地何程

下水敷地何程

小坪數何程
反別何程

官有地第一種

皇宮地何程

皇居離宮等ヲ云

神地何程

從來無稅ノ神地ヲ云

官有地第二種

皇族賜邸何程

地價何程

官用地何程

地價何程

小坪數何程
地價何程

官有地第三種

宅地何程

鐵道敷地何程

公園地何程

地租改正條例

堂宇敷地何程

河岸地何程

民有地ニアラサルモノヲ云神社地ハ官有地
一種ニ入レ官ノ用地ハ官有地第二種ニ入ル

小以坪數何程

官有地第四種

寺院境內何程

地價何程

官立學校地何程

地價何程

官立病院地何程

地價何程

小以坪數何程

地價何程

右ハ今般稅法御改正ニ付私共各町銘々持地坪數代價
等可申上旨御達ニ付私共立會每地个所落ハ勿論隱步
等一切無御座且收獲地價等聊詐偽ノ儀不奉申上候若
心得違ノ儀有之後日相顯ハル、ニ於テハ如何様ノ御
處分有之候トモ毛頭申分無御座候依之地主一同調印
ヲ以奉申上候以上

第何大區何小區
地主總代人

明治十年月日

何ノ某印

鑑定人

何ノ某印

地租改正條例

七七

戶長
何ノ某印
區長
何ノ某印

東京府知事楠本正隆殿

地價帳調製心得書

第壹條

地所名稱ヲ區別スルハ明治七年太政官第百廿號及同八年第百十四號同九年第八十八號公布ニ從フヘキ事

第二條

從前ニ筆壹人持テ地ト雖モ道路等ヲ隔ツル地及ヒ

筆ノ内イロハト小分ケテナセシムルハ此際各筆ニ取調順次番號ヲ改正スヘシ
九番號ヲ改正方法ハ第且甲乙兩町ノ地所ヲ合筆スルハ縱令接續ノ地ト雖トモ不相成儀ト可心得事
但一町内ノ分ハ此限リニアラス

第三條

寺院境外墓地ハ從來稅ノ有無ニ不拘總テ民有地第二種ニ取調其坪數ノミ可揭載事

第四條

甲町ノ名義ヲ以テ乙町ノ區域内ニ點在スル地所或ハ犬牙錯雜人民不便宜ノ地ハ此際總テ引直シ合町分町又ハ區域井然可致様各區戶長ニ於テ事實取調双方連

印圖面ニ見込書相副可願出事
但是迄差出有之分ハ其段可届出事

第五條

下水ノ儀ハ人民所有地ノ分ト雖モ壹人一己ノ自由ニ
任セサル分ハ別筆ニ取調フヘシ一筆ノ内ニ孕リ引放
シ難キモノハ本地ノ外書ニ可取調事

第六條

道路河川等ハ實測ヲ要セスト雖モ從前ヨリ經界判然
タル記録有之分ハ其事由記載スヘキ事

第七條

民有河岸地ニシテ宅地物揚場其他ノ用ニ供スルモノ
ハ昨九年甲第九十六號河岸地規則ニ隨河岸地ノ名稱

チ付スヘシト雖モ等級地價等取調振ハ其接續宅地ノ
地位ニ比準候儀ト可相心得事

第八條

地引繪圖ヲ調製スルハ府廳於テ調製セシ小區限ノ圖
面ニ基キ各地ノ地盤ヲ確定シ脱漏重複ノ憂ナキ様最
注意イタシ第九條ノ順序ニ隨ヒ番號ヲ附スヘキ事

第九條

地番號ハ耕宅地チ初メ諸官院省使府廳裁判所等ノ用
地及ヒ敷地官有宅地社寺ノ上地社寺ノ境内地墓地池
沼藪林海岸空地河岸地木石ヲ以波止場ヲ設ケ貨物及
沼敷林海岸空地河岸地木石ヲ以波止場ヲ設ケ貨物及
揚スル所チ陸物置場蓄屋宇ヲ其他ノ物品ヲ一町所
屬ノ地ハ漏脱ナシ地順チ東ヨリ北ニ止ル矣地形ノ屈

地租改正條例

曲各地ノ模様ニヨリ混淆錯雜ヲ
生セサル様適宜方法ヲ設クヘシ
透ヒ實地紛亂ナキ様一筆限一町ニ通シ更ニ新番號ヲ
附シ取調ヘキ事

但民有コアラサル河岸地番號ハ該町所屬ノ一區畫
トナ以一ト番號ヲ附スヘシ尤一河岸地中官民有地
混淆スル地所ハ其區畫ヲ判シ之ヲ區別シ順次番號
ヲ附スヘキ事

(參考) 明治十年六月廿三日東京府丙第百
五十六號ヲ以朱引内區戶長ヘ達
市街地租當半年分六月マテ可徵收處即今地位等級
專ラ審議中ニテ未ダ地價整理ニ不至ニ付猶本年甲第
十四號布達ニ倣ヒ七月三十一日限假納方可取計此旨

相達候事

(參考) 明治十年七月十日地租改
正局大藏省甲第壹號布達

明治六年七月大藏省達地租改正施行規則第四則ニ山間
海岸其他ノ宅地他ノ比較無之地價難定分ハ一反ニ付
拾錢ヨリ不少稅額ヲ可定ト有之處本年第一號ヲ以テ
地租ハ明治十年ヨリ地價百分ノ二分五厘ト改定候旨
公布相成候ニ付テハ改租ノ際所定ノ宅地地價百分三
ノ稅額十年ヨリ稅卒之改定ニ依テ一反拾錢未滿トナ
ルモノト雖トモ該地價ニ應スル稅額ノ二个半ヲ收入
シ改租ノ際壹反拾錢ヲ以稅額ヲ定メタルモノハ十年
ヨリ六分ノ一ヲ減シ即チ一反ニ收入候儀ト可相心得

地租改正條例

此旨布達候事

(參考)

明治十年十一月二日地租改正事務局乙第第十四號ヲ以府縣へ達

本年太政官第七十號ヲ以テ自今田畑ノ稱併用スヘキ旨公布相成候ニ付テハ今後相渡シ候新地券記載方ノ儀耕地一筆内ニ田ト畑トアルモノハ耕地反別ノ腹書ニ内(田若干)ト記入シ一筆皆田或ハ皆畑ナルモノハ單ニ田若干畑若干ト記載スヘシ既ニ渡シ濟ノ分ハ書換ノ都度相改メ可申尤改租後田ヲ畑ニ或ハ畑ヲ田ニ變換候トモ地價据置キ年度中ハ改租當初ノ名稱ニ据置キ共事由ヲ臺帳ニ記載宅地等ニ變換スルモノモ之ニ同候儀ト可相心得此旨相達候事

但地券臺帳ノ儀モ今後編製ノ分ハ本文ニ準シ可相改既ニ編製濟ノ分ハ田畑ノ朱書有之儀ニ付其儘据置可申事

(參考)

明治十年十二月廿六日地租改正事務局甲第三號布達

明治六年七月大藏省達地租改正施行規則第二則へ左ノ但書ヲ加へ候條此旨布達候事

但非常永年季ノ分地盤作付出來ノ年ヨリ三十年ヲ度トシ引直スヘキ事

(參考)

明治十一年三月十四日內務省乙第二十五號ヲ以府縣へ達

十年二月第二號ヲ以テ民費ハ正租五分ノ一ヲ超過ス

地租改正條例

定候土地ニ限リ候儀ト可相心得事

但改正未済ノ土地ハ假定ノ租額ニ據リ五分ノ一賦課致シ其消費候民費ハ改正済ニ到リ租額ニ照シ指引清算ニ及サル儀ニ候事

(參考) 明治十一年三月二十八日東京府乙第九號ヲ以伊豆七島ヲ除ク區戸長ヘ達

地租改正後ハ五ヶ年間地價可据置成規ノ處田畑山林宅地等其種類ヲ變換シ田畑トナシ田畑トナスノ類トキハ其都度該區務所ヘ爲届出區務所ニ於テハ毎年兩度六月取纏メ別紙書式ニ照準届出候儀ト可相心得此旨相達候事

但潰地開墾等ニテ大イニ地形ヲ變更スルモノハ従前之通出願ノ上許可ヲ受ケヘ申事

離形

御届

第何大區何小區

何 村町

郡村ナレハ字ヲモ記スヘシ

他地主ナレハ其居所ノ地名ヲ詳細肩書ニスヘシ已下倣之

地主

何某印

何番地

一田反別何程

是ハ畑ニ變換

何番地

地租改正條例

一畑反別何程

地主

何某印

是ハ田ニ變換

何番地

地主

一宅地坪數(反別)何程

何某印

何番地

地主

一宅地坪數(反別)何程

何某印

小計宅地坪數(反別)何程

是ハ畑ニ變換

通計

田反別何程

畑ニ變換ノ分

畑反別何程

田ニ變換ノ分

宅地坪數(反別)何程

畑ニ變換ノ分

右者本年何月ヨリ何月迄變換ノ分取纏メ御届申上候也

第何大區何小區

直管區戶長

何某印

年號月日

東京府知事宛

(參考)

明治十一年四月四日東京府改租掛ヨリ伊豆七島ヲ除ク朱引外區戶長ヘ達

地租改正之調査モ稍々整頓ニ至リ候ニ付テハ別紙離形ニ準ヒ一筆限地價帳ヲ製シ可差出此旨相達候事

地租改正條例

地租改正條例

用紙美濃紙半枚二筆ツ、認ムヘシ

地價取調帳

第何大區何小區
何國何郡何村

此雛形ハ概テ各種ノ地目ヲ掲ケテ調査ノ例ヲ
舉ケタルモノナレハ各村町ニ於テハ地押番號
ヲ逐ヒ實際ノ地種ヲ掲クヘシ
而シテ地價ノ調査ハ先ツ田畑宅地ヨリ畢テ順
次各種ニ及フヘキモノトス
官有地第二種及ヒ第四種ニ属スル地所ハ區入
費ヲ賦スヘキモノナレハ更ニ比隣相當ノ地價
ヲ附スルヲ要スヘシ

何
村町

一番 他國他郡村町ノ者ナレハ肩書スヘシ

持主

何 某 印

何等 一田何反步

此收稷米何程

地價何程

二番

持主

何 某 印

何等 一田何反步

此收稷米何程

地價何程

内 稻干場 敷
惡水路

地租改正條例

三番

何社
官有地

民有地ナルトキハ

一社地何反歩

何社印

但府社歟
村

從來民有稅地ノ社ト雖_モ其社所有ナレハ鄉村以
上ノ分ハ民有地第二種即除稅積取調ベシ尤官有
地ナレハ無印民有地ナレハ社印又ハ戶長捺印ス

四番

持主

何等 一社地何反歩

何某印

地價何程

村中持ナルトキハ

戶長或ハ總代人

何某印

五番

持主

何等 一畑何反歩

何某印

此收穫麥何程

地價何程

外何歩

墓地

六番

持主

何等 一宅地何反歩

何某印

地租改正條例

此地價何程

九四

七番ノ内甲號

字

持主

優等一宅地何反步

何某印

此地價何程

共有地ナルトキハ

持主

何某外何名代理

何某印

七番ノ内乙號

字

持主

何等一畑何反步

何某印

此収獲麥何程

地價何程

八番

字

持主

準市街何等

何某印

一宅地何坪何合何夕

此地價何程

九番

字

戶長

一何等公立小學校地何反步

何某印

此地價何程

學校所有ノ地ヲ云フ

地租改正條例

九五

十番

字

一何廳用地何反步

官有地

此地價何程

十一番

字

一官地何反步

何等

官有地

此地價何程

若シ民有地ニシテ寺持ナルトキハ

持主

何寺印

或ハ檀中持ナルトキハ

何寺檀中總代

何某印

十二番

字

一堂宇敷地何畝步

官有地

民有地ナレハ地價ヲ付シ持主捺印ス

十三番

字

一池畝何反步

持主

何某印

此地價何程

十四番

地租改正條例

地租改正條例

字
一 墓地何畝步

持主
何某印

九八

若シ共有墓地ナルトキハ

區戶長或ハ総代人
何某印

字
十五番
一 寺地何反步

何寺
官有地

內何步

墓地

此地價何程

持主

字
十六番

一 萱生地畝何反步
此地價何程

何某印

字
十七番

堤敷
溜池
一 河岸地畝何反步
用水路
惡

官有地

若シ民有地ナルトキハ

持主
何某印

字
十八番

地租改正條例

九九

準市街 坪數何程
宅地 坪數何程

此地價何程

反別何程

此地價何程

小以

坪數何程

此地價何程

藪反別何程

此地價何程

林反別何程

此地價何程

池反別何程

此地價何程

萱生地反別何程

此地價何程

草生地反別何程

此地價何程

小以反別何程

此地價何程

外反別何程

何年ヨリ何年迄何个年荒地年季

外反別何程

何年ヨリ何年迄何个年畝下年季

官有地第二種

鄉村社地反別何程

該社所有ノ社地ヲ云フ

堤敷反別何程

溜池敷反別何程

用水路

墓地反別何程

小以反別何程

官有地第一種

神地反別何程

官有地第二種

官用地反別何程

此地價何程

官有地第三種

堤敷

溜池敷

河岸地敷反別何程

用水路

惡水路

堂宇敷地何程

小以反別何程

官有地第四種

寺地反別何程

此地價何程

地租改正條例

右者今般稅法御改正ニ付私共村方銘々持地反別代價等可申上旨御達ニ付私共立合地毎ニ取調个所茲ハ勿論隱步等一切無御座且取揚米等詐欺ノ儀不奉申上候若心得違ノ儀有之後日相顯ハル、ニ於テハ如何様ノ御處分有之候共毛頭申譯無御座候依之地主一同調印ヲ以奉申上候以上

第何大區何小區

何國何郡何(村町)

總代人

何某印

改租掛

何某印

戶長

何某印

區長

何某印

東京府知事楠本正隆殿

(參考) 明治十一年四月四日東京府地租改正掛ヨリ區戶長改租掛へ通達

今般地價帳調査ノ義丁第五十六號ヲ以テ被相達候ニ付テハ別紙手續書ノ通り相心得調所ノ義ハ寺院若クハ民家等借受至急可被申出候尤若手日限ノ儀ハ退テ本科ヨリ報告可致候此段及通達候也

地租改正條例

地價帳調查手續書

- 一 地價帳調查中本科ヨリ官員派出スヘキニ付諸般該員ト協議スヘシ
- 一 一大區中三四个所ノ積調所ヲ便宜ノ地ニ設クヘシ
- 一 改租掛ハ調所ヘ日勤シ調査ニ従事スヘシ
- 但シ改租掛差支ノ節ハ擔當人若クハ總代人ヲ撰ヒテ出勤セシムヘシ
- 一 従事ノ時限ハ毎日十時間ト定メ午前第八時出頭午後第六時退出スヘシ
- 但シ日々出勤帳ヘ捺印スヘシ
- 一 調査ノ順序ハ各村便宜ニ組合ヲ設ケ抽籤ヲ以テ番號ヲ定メ組合總掛リヲ以テ一番ヨリ逐次着手スヘシ

但組合人員ノ都合ニヨリ部分シテ二三个村ニ着手スルモ妨ケナシ

一村毎ニ整頓ノ帳簿ハ該村總代人改租掛戸長若クハ戸長代員等立會本村ニ於テ一筆限リ地主調印ヲ要スヘシ

二 調印卒分ハ又調所ニ送付シ戸長之ニ捺印シテ派出員ヘ執達スヘシ

三 區戸長ハ時々調査所ニ出頭調査人勤惰ヲ監督スヘシ

(參考) 明治十一年四月十九日地租改正事務局乙第二號ヲ以テ府縣ヘ達シ

明治十年十月第七十號ヲ以テ田畑ノ稱併用スヘキ旨公

地租改正條例

布相成候ニ付テハ地租改正後田畑成畑田成宅地成等ノ類ハ其都度爲届出實地ニ臨ミ點檢ノ上改租ノ際調成セル圖面へ一筆限リ野紙ヲ以更正地券面へモ何年何地成ト朱書ヲ加ヘ(臺帳へ登記ノ手數ハ是迄ニ同シ)三個月毎ニ取纏メ右届書租稅局へ可差出此旨相達候事

但田地へ隔年又ハ一季二季便宜ニ寄リ畑作ヲ仕付ル分ハ此限ニアラス

(參考) 明治十一年五月十六日東京府乙第十二號ヲ以伊豆國七島ヲ除ク區戶長へ達

本年三月乙第九號達左ノ通更正候條此旨可相心得候事
地租改正後ハ五ヶ年間地價可据置成規ノ處田畑山林

宅地等其種類ヲ變換(田ヲ畑トナシ畑ヲ田トナシ)スルトキハ其都度別紙書式ニ照準可相届尤其時々掛官員出張實地檢査ノ上地券面へ(何年何)ト朱書ヲ加ヘ下付候等ニ付各區務所ニ於テモ帳簿圖面等速ニ更正可致此旨相達候事

但潰地開墾地等ニテ大ニ地形ヲ變更スルモノハ従前ノ通出願ノ上許可ヲ受ヘキ事

書式

御届

第何大區何小區何村(町)

何番地

郡村ナレハ字ヲモ記スベシ

地租改正條例

- 一 田反別何程
- 何番地
- 二 畑反別何程
- 田成
- 何番地
- 一 宅地坪數(反別)何程
- 田(畑)成

同種類ノモノニ筆以上アルトキハ
小計通算ヲ載スヘシ

右者私所有地々種變換致候ニ付此段御届申上候也
 第何大區何小區
 何村(町)何番地
 何某印
 年號月日
 (右區直營區長)戶長

東京府知事宛
 何某印

(參考) 明治十一年六月廿九日東京府
 乙第十八號ヲ以テ區務所へ達

地ニ課スル民費ノ儀從前聞小間或ハ舊地價或ハ反別
 ニ課賦致シ來リ候處今般地租改正成功ニ及ヒ候ニ付
 當七月一日ヨリ明治十年太政官第二號公布ニ照シ地
 券金額ニ依リ課賦可取計尤モ右課收金額ニテ費額不
 足ヲ生シ候分ハ課賦法相立候迄繰替下渡シ候條區内
 一般へ告示致シ置可申此旨相達候事

(參考) 明治十一年七月十二日東京府乙第廿三
 號ヲ以テ伊豆國七島ヲ除ク區務所へ達

今般地租改正濟ニ付新舊券狀交換候節ハ用紙トシテ一枚ニ付金壹錢二厘ツ、上納候儀ト可相心得旨豫シ各地主へ可及告示此旨相達候事

(參考)

明治十一年七月五日東京府號外ヲ以朱引内區務所へ達

地租改正卒業候ニ付区内人民公撰ヲ以テ取定候地主總代人ノ儀ハ一同解職ト可相心得旨本人及各地主へ可相達此旨相達候事

(參考)

明治十一年七月五日東京府號外ヲ以朱引内區務所へ達

地租改正卒業候ニ付地價鑑定人地主總代人一同解職ノ儀相達候得共帳簿整頓等ノ都合ニ寄リ一時殘務爲

取扱候儀ハ適宜取計不苦候條此旨相達候事

但人名地租改正掛へ可届出事

○新聞條例

本朝民鑑乾ノ卷へ掲出ス

(參考) 明治九年十二月四日内務省甲第四十三號布達

新聞紙及ヒ雜誌雜報等准允ヲ得タル後三十日間ニ發行セサル者及休業届出ノ後五十日間ニ再行届無之者ハ並ニ准允ノ權ヲ失シ廢絶タルヘシ此旨布達候事但即今休業中ノ者ハ此布達到達ノ日ヨリ廿日限リ更ニ地方廳ヲ經由シ當省へ届出ヘシ右日限間ニ届出サル者ハ廢絶タルヘキ事

地租改正條例

(參考) 明治十一年五月十七日 東京府甲第十八號布達

新聞紙雜誌雜報ノ諸願伺屆等ハ自今東京警視本署へ可差出此旨布達候事

(參考) 明治十一年六月廿七日 內務省甲第十九號布達

新聞紙雜誌雜報讓受讓渡改題並記事ノ性質ヲ變更スルモノハ自今其旨趣ヲ詳記シ出願許可ヲ受ヘク此旨布達候事

(參考) 明治十一年七月十七日 司法省 號外ヲ以大審院諸裁判所へ達

今般別段取調ノ儀ニ付各應ニ於テ新聞條例及ヒ讒謗律ニ抵觸セシ犯者姓名等右條例發行已來本年六月ニ至ル迄ノ分別紙書式ヲ通シ調成ノ上至急可差出候尤

本年七月已降ノ儀ニ毎月調成致シ翌月十日限リ其地差立犯者無之月ハ其段可届出候此旨相達候事
但支廳區裁判所有之向ハ各自調成ノ上本廳へ取纏
シ一同可差出事

某廳新聞條例及ヒ讒謗律犯者月表 明治 年 月分

區	分	年	月	日	刑	名	新聞	名	犯	者		
新聞條例	何年何月何日	禁獄何日	何々新聞	編輯長姓名 或何々姓名	讒謗律	ハハハハハハ	罰金何圓	何々雜誌	ハハハハハハ	罰金何圓	何々雜誌	ハハハハハハ

(參考) 明治十年十二月十七日東京府公債掛第六號ヲ以テ靜岡縣愛媛縣滋賀縣和歌山縣新潟縣石川縣愛知縣千葉縣ニ報告右各縣ノ貫屬ニテ府下寄留并ニ本年一月以降當府ノ貫屬換ノ者ニシテ金祿公債証書於當府受取方本縣ニテ願濟ノ分此程本縣ニシテ利金相達シ下渡中ニ候處宿所不相分差支居候分不少各區務所ニ於テ調査候ヘトモ自然遲延候儀ニ付右利金受取未濟ノ者ハ速ニ當掛ヘ可申出此旨報告ス

(參考) 明治十一年二月十八日大藏省乙第六號ヲ以テ府縣ニ達
 新舊秩祿公債証書ノ事務ニ關係スル一切ノ諸費今般計算ヲ要スルニ付明治九年七月一日ヨリ十年六月三十日ニ至ル一周年間費用ノ金員別紙離形ニ照準調製

大藏省乙第六號別紙

原書用紙美濃類似外野堅五寸二分横八寸八分二ツ折

明治九年七月一日ヨリ十年六月三十日ニ至ル一周年間
 新舊秩祿公債証書之事務ニ係ル諸費括算表
 使 府 縣 名

公債掛 判任等外雇共何人月給	金何圓 (朱) 外金何圓 金祿公債發行 ニ付増加
全 旅費日當	全 (朱)
全 臨時手當	全 (朱)
全 小使給料	全 (朱)
全 郵便切手	全 (朱)
全 海陸遞送費	全 (朱)
全 筆墨紙其他諸雜費	全 (朱)

(參考) 明治十一年二月十八日大藏省乙第六號ヲ以府縣へ達

新舊秩祿公債証書ノ事務ニ關係スル一切ノ諸費今般
 計算ヲ要スルニ付明治九年七月一日ヨリ十年六月三
 十日ニ至ル一周年間費用ノ金員別紙離形ニ照準調製

大藏省乙第六號別紙

原書用紙美濃類似外野堅五寸二分横八寸八分二ツ折

明治九年七月一日ヨリ 一周年間
 全 十年六月三十日 至

新舊秩祿公債証書之事務ニ係ル諸費括算表
 使 府 縣 名

公債掛 判任等外雇共何人月給	金何圓 (朱) 外金何圓 = 金祿公債發行 增加
全 旅費日當	全 (朱)
全 臨時手當	全 (朱)
全 小使給料	全 (朱)
全 郵便切手	全 (朱)
全 海陸遞送費	全 (朱)
全 筆墨紙其他諸雜費	全 (朱)
合計金	

(朱) 本文費目者概零ニ付實際ニ付テ宜斟酌スヘキナリ

イタシ可差出且又金祿公債証書發行ニ付テハ該事務
ニ關係ノ諸費加増ノ見込有之分ハ凡按算ノ金額表中
ハ朱筆ヲ以外書ニ相認メ可差出此旨相違候事
但往返ヲ除ク外三十日限リ可差出事

(參考) 明治十一年三月十八日大藏省乙第十五號ヲ以府縣へ達

當五月可相渡金祿公債利金ノ儀ハ未タ証書下附以前
ニ付金券調總計表ニ掲載ノ利子金額下附候儀客年十一月相渡候順序ヲ以夫々渡方可取計此旨相達候事

(參考) 明治十一年七月二十七日大藏省乙第卅九號ヲ以府縣へ達

金祿公債証書下渡方ノ儀別紙ノ通相定候條証書下附ノ節ハ右ニ照準可取計此旨相達候事

金祿公債証書下渡手續ハ本朝民鑑附錄卷ノ四へ掲出シタルヲ以此所ニ畧ス

○蠶種製造組合條例 本朝民鑑乾ノ卷へ掲ク

(參考) 明治十一年五月四日太政官第十號布告

明治七年二月第十九號布告蠶種原紙規則同八年三月第四十七號同十年四月第三十九號右規則中改正布告及同八年二月第三十二號布告蠶種製造組合條例並蠶種製造組合會議局規則同年四月第六十五號條例追加同十年五月第四十二號初度夏蠶種製造方布告共廢止候條此旨布告候事

蠶種製造組合條例

○株式取引條例 本朝民鑑乾

ノ卷へ掲シ

(改正) 明治十一年五月四日
太政官第八號布告

明治七年十月第十七號布告株式取引條例相廢シ更ニ別冊ノ通相定候條此旨布告候事

株式取引條例

第一章 株式取引所創立及開業ノ事

第一條 株式取引所ハ株式仲買人ノ集會ノ日本政府ノ諸公債證書及日本政府ノ條例ヲ遵奉ノ發行シタル銀行並諸會社ノ株券ヲ賣買取引スル所ナリ而シテ之ヲ創立セントスルモノハ其創立願書ハ其地方長官ノ與書ヲ受ケ之ヲ大藏省へ差出シ大藏卿ノ允許ヲ請フヘシ

第二條 此條例ヲ遵奉シテ株式取引所ヲ創立スルニ

ハ其發起人少クトモ拾名以上ニシテ其資本金額ハ二十萬圓以上タルヘシ而シテ其資本金總高ノ半數以上ニ當ル金額ヲ右發起人總員ニ出スヘシ

第三條 大藏卿ハ此創立願書ヲ受領シテ其許可スヘキヤ否ヲ考察シ或ハ之ヲ許可シ或ハ之ヲ許可セサルコトアルヘシ

第四條 發起人右創立許可ヲ受クルニ於テハ諸般ノ規程ヲ議定シテ創立證書及定款申合規則各二通ヲ製シ株主一同記名調印ノ上地方長官ノ與書証印ヲ受ケ之ヲ大藏省へ差出スヘシ
但創立證書及ヒ定款等ハ創立許可ヲ得タル日ヨ

株式取引條例

リ遅クトモ三個月間ニ差出スヘシ若シ右期限内ニ差出サ、ルモ其許可ハ無効ニ屬ス可シ

第五條 右創立證書及定款申合規則ハ左ノ主旨ニ從ヒ各取引所ノ便宜ニ依テ之ヲ制定スヘシ然レトモ必ラス此條例ノ旨趣ニ抵觸スルヲ得サルヘシ

創立證書ハ取引所ヲ創立スルニ付株主一同決定シタル綱領ノ條件及ヒ其責任ノ有限或無限責任トハ負債償却ノ義務ニ於テ該取引所ノ株券責任或ハ其株券ノ一倍等其限リアルヲ云ヒ無限責任トハ株主一同相連帶シテ各自ヲ明記シ必ラス之ヲ遵守踐行スヘキ旨ヲ政府ニ對シ保証スルモノナリ
定款ハ取引所ヲ創立スルニ付株主一同其取引所

ノ便宜ヲ商量決定シテ互相確守スヘキ約束條款ヲ記載スルモノナリ
申合規則ハ賣買取引ニ付賣買主双方ノ間ニ於テ取引所ニ對シ確守スヘキ規程ヲ記載スルモノナリ

第六條 大藏卿ハ右創立證書及定款申合規則ヲ檢按シテ不都合ナシト思考スルニ於テハ之ニ與書證印ヲ加ヘ免狀ト共ニ之ヲ其取引所ニ下付シテ開業ヲ許ス可シ

但爾后取引所ノ都合ニヨリ其創立證書及ヒ定款申合規則ヲ改正加除スルトキハ其時々大藏卿ノ認許ヲ受クヘシ

株式取引條例

第七條 取引所ハ開業前ニ於テ其營業保證ノ爲メ資本金高ノ三分二以上ニ當ル現金又ハ公債證書(大藏省指定スル)ヲ大藏省ニ差出シ預ケ置クヘシ但シ開業免狀ヲ得タル後滿五个月ニ至リ猶本文ノ手續ヲナサス又ハ開業セサルコトアルキハ其免狀ハ取消タル可シ

第八條 取引所ハ開業ノ日ヨリ滿五个月ノ間其營業ヲ保續スルヲ得ヘシ右滿期ニ至リ尙營業セント欲スルキハ更ニ允許ヲ受ク可シ

第九條 取引所ニ於テ開業免狀ヲ受タル上ハ其免狀并ニ創立證書ノ寫ヲ添ヘ何月何日ヨリ其商業ヲ創ムヘキ旨ヲ新聞紙又ハ其他ノ方法ヲ以テ世上ニ公

告スヘシ

第二章 株主并ニ株手形ノ事

第十條 各株主ヨリ入金シタル金額ハ分テ百圓以上一定ノ株式トナシ株手形ヲ製シ其株主タルモノヘ之ヲ交付スヘシ

第十一條 株主ハ其取引所ノ營業時間ハ何トキニテモ其金員及ヒ諸帳簿ヲ檢閲スルコトヲ得ヘシ

第十二條 株主ハ何等ノ事故アルトモ其取引所解散ノ期ニ至ラサル間ハ其株金ヲ取戻スコトヲ得ス

第十三條 株主ハ其取引所ノ承認ヲ得タル上其所在地ノ株式賣渡シ又ハ讓渡シヲナスコトヲ得可シ

第十四條 株主タルモノハ其取引所ノ役員ダラサル

株式取引條例